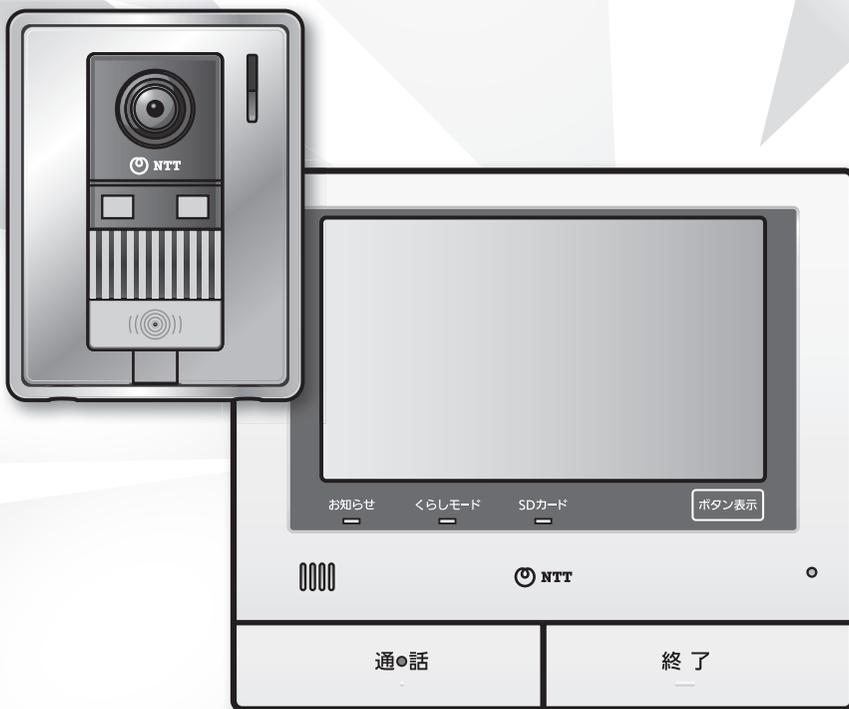




カラーカメラドアホン P5/ カラーカメラドアホンモニター P5 取扱説明書



確認と
準備

通話/
モニター

録画/
再生

くらし
モード

電話/ファク
スの連携

他機器
との連携

こんな
とき

お好み
設定

必要な
とき

困った
とき



このたびは、カラーカメラドアホン P5 およびカラーカメラドアホンモニター P5 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。
- 本書に掲載しているイラストや画面はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

こんなことができます



カラーカメラドアホン-P5
(本書の表記: **ドアホン**)

LEDライト付きで、夜など暗いときも来客をカラーで映します。また、広角レンズにより、広範囲の映像を撮影できます。
(画角について 103ページ)

**増設も
できます** 基本セットと合わせて **3台まで**
(別売品 104ページ)



カラーカメラドアホンモニターP5
(本書の表記: **ドアホン親機**)

画面は指でタッチして操作する
タッチパネルです。

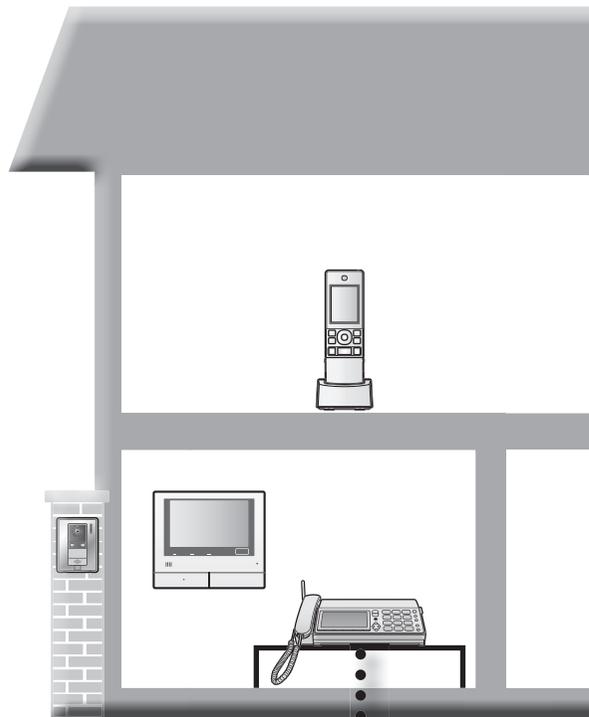
ドアホンの映像表示中は、画面に
タッチしてズームやパン・チルトが
できます。(27ページ)



1.9GワイヤレスモニターP5(別売品)
(本書の表記: **子機**)

子機はドアホン/電話両用です。
対応の電話/ファクスに子機登録すると、電話が
できるようになります。(44ページ)

**増設も
できます** **6台まで**
(別売品 104ページ)



◆さらに便利に…

電話/ファクスと連携する
(43ページ)

子機(左記)を登録して電話として
使ったり、電話/ファクスでドアホン
通話ができます。

1台のみ

こんな機器にもつながります

■ 火災警報器やコール機器

警報器の反応や、コール機器からの呼び出し
にドアホン親機や子機を連動させることが
できます。(70ページ)



ピーピーピー

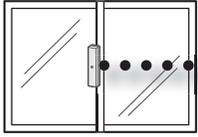


ピロピロピロピロ

■ 電気錠やエアコンなど

ドアホン親機や子機で、電気錠やエアコン
などの操作ができます。(68ページ)





窓センサーと連携する(☎ 62ページ)

ドアホン親機や子機で、窓の開閉状態を確認したり、窓が開いてセンサーが反応したときにドアホン親機や子機にお知らせします。

20台まで



カメラ(センサーカメラ)と連携する(☎ 48ページ)

ドアホン親機や子機で、カメラの映像を見たり、録画ができます。

4台まで

■ 光るチャイムやメロディサインなど

来客時に光や音でお知らせします。(☎ 71ページ)



光るチャイム



■ 中継アンテナ

子機の設置場所が離れていたり、障害物などで電波が届きにくいときに設置すると、電波状態を改善できます。(☎ 92ページ)



確認と準備

安全上のご注意	6
使用上のお願い.....	8
本体と付属品の確認.....	12
各部のなまえとはたらき.....	13
タッチパネルの使いかたと画面の見かた....	16
SDカードについて.....	18
日時(時計)を設定する	21
映像の表示範囲を設定する	22
●ワイド/ズーム/全体表示の設定 (着信画面設定).....	22
●ズーム位置の設定.....	23

通話／モニター

来客の呼び出しに応答する	24
●着信画面に誰も映っていないとき (戻って再生).....	25
●自分や相手の周囲が騒がしく 話しにくいとき(プレトーク通話).....	25
着信中・通話中・モニター中に 音や表示を調整する.....	26
音量、ボイスチェンジ、明るさ、逆光補正、 ドアホン照明、ワイド/ズーム、パン・チルト	
ドアホン通話を転送する.....	28
ドアホン側の様子を見る (ドアホンモニター).....	29
子機と話す(室内通話)	30

録画／再生

録画・録音機能について.....	31
ドアホンの映像や通話を録画・録音する... ..	32
録画を再生する	34
再生中に音や表示を調整する.....	36
音量、明るさ、ワイド/ズーム、パン・チルト	

録画／再生

画像を検索する(探す).....	37
画像を保護／消去する.....	38

くらしモード

くらしモードについて(在宅/夜間/外出) ...	39
くらしモードを切り替える.....	40
●タイマー設定で、夜間モードにする... ..	41
各モードの設定内容を変える.....	42

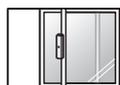
電話/ファクスとの連携

 電話/ファクス との連携について.....	43
子機(1.9GワイヤレスモニターP5)で 電話ができるようにするには.....	44
電話/ファクスで 来客応答できるようにするには.....	45

他機器との連携

カメラとの接続について.....	47
 カメラ との連携について.....	48
●カメラをドアホン親機に登録する.....	49
●センサー検知時の 撮影範囲を確認する(録画のテスト).....	50
カメラ側の様子を見る(カメラモニター) ...	51
カメラのセンサーが反応したとき.....	52
●カメラのセンサー検知を休止する.....	53
カメラの着信中やモニター中に 音や表示を調整する.....	54
ワイド/全体表示、パン・チルト、お知らせ音、 ポジション登録、明るさ、呼出音量	
カメラ映像の録画について.....	56
カメラの機能を変える(機能設定一覧).....	57

他機器との連携



窓センサー

との連携について	62
● 窓センサーをドアホン親機に登録する	63
● エリアを変更するとき	64
窓の開閉状態を確認する(センサー情報を見る)	65
窓が開いたとき(報知レベルと動作について)	66

電気錠やエアコン

などと連携して使う	68
-----------	----

火災警報器やコール機器

と連携して使う	70
---------	----

光るチャイムやメロディサイン

などと連携して使う	71
-----------	----

こんなとき

着信中・通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき	72
----------------------------	----

本機や連携機器の情報を 見たいとき(情報表示画面)	76
------------------------------	----

お好み設定

音の設定

呼出音量を変える	78
呼出音の種類を変える	79
着信させるドアホンやカメラを 指定する(鳴り分け)	80

機能設定一覧	81
--------	----

必要なとき

子機を増やす(増設)	90
------------	----

中継アンテナを使用する(増設)	92
-----------------	----

使わなくなった機器を減設する	95
----------------	----

〔 電話/ファクス、子機、カメラ、
中継アンテナ、窓センサー 〕

SDカードを操作する	97
------------	----

〔 フォーマット、録画データのコピー、
パソコン再生、フォルダー構造とファイル形式 〕

お手入れ	101
------	-----

仕様	102
----	-----

別売品/消耗品について	104
-------------	-----

商標・ライセンスについて	105
--------------	-----

困ったとき

困ったとき	109
-------	-----

こんな表示が出たら	119
-----------	-----

Quick Reference Guide	124
-----------------------	-----

さくいん	126
------	-----

保守サービスのご案内	128
------------	-----

確認と
準備

通話/
モニター

録画/
再生

くらし
モード

電話/ファクス
との連携

他機器
との連携

こんな
とき

お好み
設定

必要な
とき

困った
とき

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■ 分解・修理・改造しない



火災・感電の原因になります。

分解禁止

- 修理は当社のサービス取扱所へご相談ください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

■ 指定以外の機器は接続しない



火災・感電の原因になります。

禁止

■ 煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切る



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- 使用を中止し、当社のサービス取扱所へご相談ください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- 修理は当社のサービス取扱所へご相談ください。

■ ケーブルを引っ張ったり、ぶらさがったり、コネクタ部に無理な力を加えない



機器の破損、または落下によるけがの原因になります。

禁止

■ 湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない



火災・感電の原因になります。

禁止

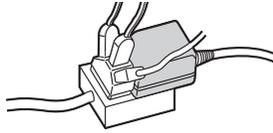


警告

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない



禁止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- 機器内部に金属物を入れない



禁止

火災・感電の原因になります。

- 金属物が入った場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って当社のサービス取扱所へご相談ください。

- 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電・けがの原因になります。

- ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜く、または電源ブレーカーを切って当社のサービス取扱所へご相談ください。

- 電源コードに水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電・けがの原因になります。

- ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて当社のサービス取扱所へご相談ください。

- 医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）



禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

- 雷が鳴ったらドアホン親機・電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因になります。

- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す



電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

- SD カードは、乳幼児の手の届くところに置かない



禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



注意

- 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない



禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

- スピーカーに耳を近づけて使用しない



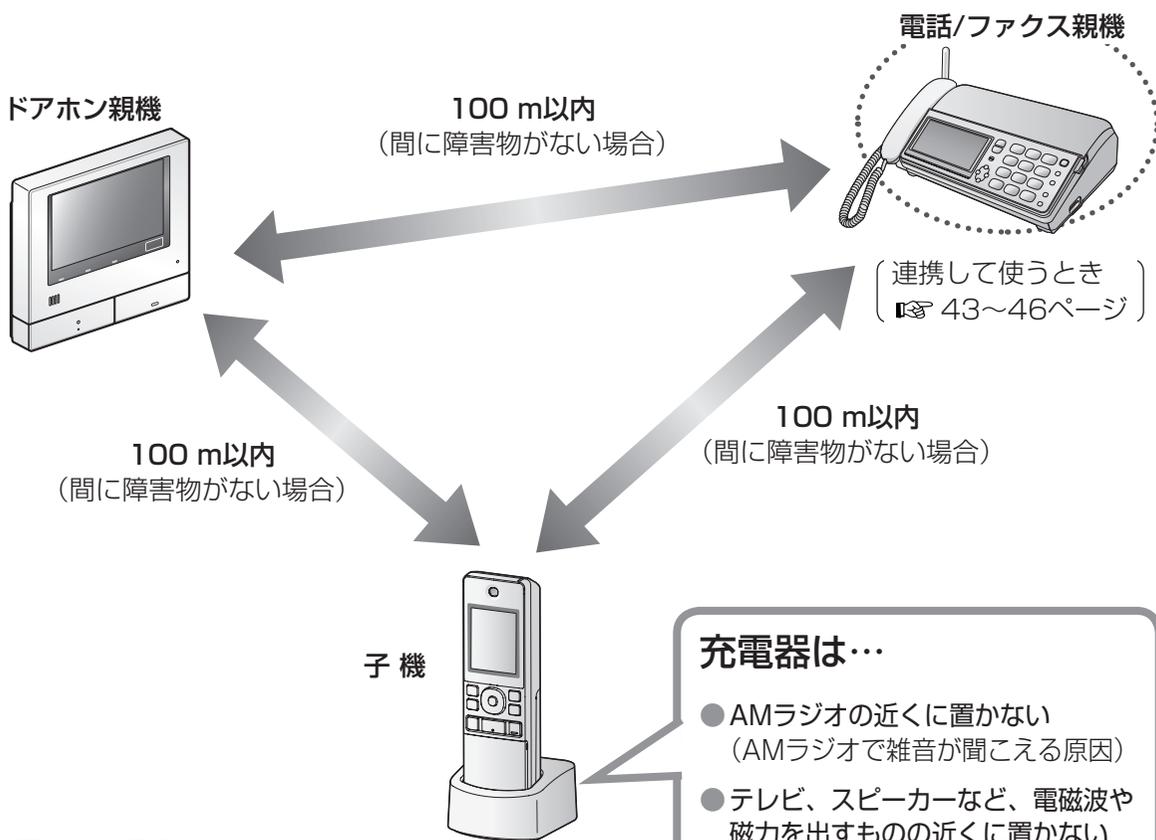
禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

こんなところには設置しない (ドアホン親機・子機)

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、
工事説明書をよくお読みください

- 火気・熱器具の近く(変形や故障の原因)
- 直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く(40℃以上、0℃以下は誤動作・変形・故障の原因)
- 温度変化が激しいところ(結露による誤動作の原因)
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコン、給湯器リモコン(インターホン機能付き)、ホームセキュリティ関連装置の近く(ノイズ発生の原因)
- CSデジタル放送受信機器(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)の近く(CSデジタル放送の画像が乱れる原因)
 - ・受信機器から離して設置しても、特定チャンネルの画像が乱れる場合(☎ 117ページ)



充電器は…

- AMラジオの近くに置かない
(AMラジオで雑音が聞こえる原因)
- テレビ、スピーカーなど、電磁波や磁力を出すものの近くに置かない
(充電できないことがあります)

〈子機での通話について〉

- デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な
通話は親機で!

電源プラグは、各機器の設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機間の通信について

- 距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり※1、ブツブツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| ● 金属製のドアや雨戸 | ● 複層ガラスの窓 |
| ● アルミはく入りの断熱材が入った壁 | ● 壁を何枚もへだてたところ |
| ● コンクリートやトタン製の壁 | ● 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき |

- 上記のような場合、子機とドアホン親機(または電話/ファクス親機)の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。
(☞ 92、104ページ)

ただし、ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。※1



中継アンテナ

- ※1 親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。親機同士をワイヤレスアダプター機能で接続している場合は、ドアホン親機の情報表示画面で電波状態を確認できます。(☞ 76、77ページ (D))

電波について

- 本機は、1,895.616~1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です

本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。

1.9-D

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

- 本機は、Digital Enhanced Cordless Telecommunications に準拠した日本国内向けの通信方式です

Digital Enhanced Cordless Telecommunications
次世代デジタルコードレス通信方式

- 本機の使用周波数に関わるご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

- ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

個人情報について

本機には、右記のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- ドアホン親機の本体メモリー(内蔵)やSDカード
→ 来客映像などの録画・録音データ
- ドアホン/電話両用子機(別売品)の本体メモリー
→ お客様自身で登録した電話番号や氏名など、電話帳データ

免責事項

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の録画データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から必ず取り出して保管ください。また、子機の電話帳データはメモを取るなどして保管ください。
- データの保管後、ドアホン親機や子機でそれぞれ、「設定の初期化」をしてください。^{※1}
(初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます)
 - 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店までご相談ください。

初期化をせずに修理依頼された場合でも、修理の際、本体メモリー(記録情報や設定内容)がお買い上げの状態に戻る場合があります。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出してください。
 - SDカードも廃棄・譲渡するときは(19ページ)
- ドアホン親機や子機でそれぞれ、「設定の初期化」をしてください。^{※1}
(初期化すると、本体メモリーに記録された情報が消去されます)

※1 ドアホン親機の場合 → 88ページ「設定の初期化」で「設定の初期化+本体メモリー画像消去」を行う
子機の場合 → 「1.9GワイヤレスモニターP5取扱説明書」

セキュリティに関するお願い

LANケーブル(市販品)を使って、本機とカメラを接続して利用するときは下記の注意が必要です。

- **イーサネット上で送受信される映像などのデータは、暗号化されていません。**
本機をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。
 - 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい(ドアホン映像データなどの通信内容)
 - 悪意の第三者による本機の不正操作
 - 悪意の第三者による本機の妨害や停止
- **無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行ってください。**
- **セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。**
- **以下のような場合は、本機を初期化してください。(☞ 88ページ)**
 - 他人に譲渡するとき
 - 本機を廃棄するとき

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
(故障の際は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください)
- 停電すると本機は使えません。
- 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しを当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。

本体と付属品の確認

不備な点がございましたら、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店へお申し付けください。

基本セット



- ドアホン本体 1台
- 壁掛け用木ねじ・小ねじ（設置工用） 各2個



- ドアホン親機本体 1台
- 壁掛け金具（設置工用） 1個
- 壁掛け用木ねじ・小ねじ（設置工用） 各2個

- 取扱説明書（本書） 1冊
- 簡単ガイド 1部
- 工事説明書 1部
- 保証書 1式



お願い

●電源プラグキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理をしてください。

レンズカバー

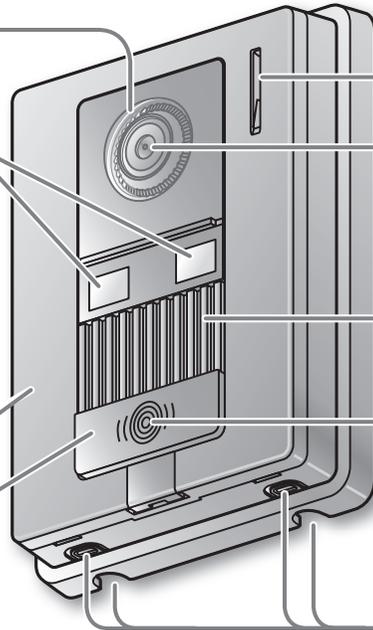
LEDライト(照明用)

- 「ドアホン照明自動点灯」設定 (☞ 85ページ)により自動で点灯させたり、通話中などドアホン親機や子機から手でON/OFFすることもできる (☞ 26ページ、「1.9Gワイヤレスモニター-P5取扱説明書」)

パネル

呼出ボタン

- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の「ただいまコール」がはたらく



マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴(4か所)

- 雨水を抜くための穴です。ふさがないでください

各部のなまえとはたらき(ドアホン)本体と付属品の確認

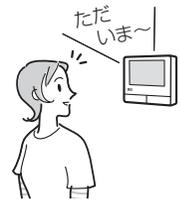
ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。



① 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます



② 終わったら、指を離す

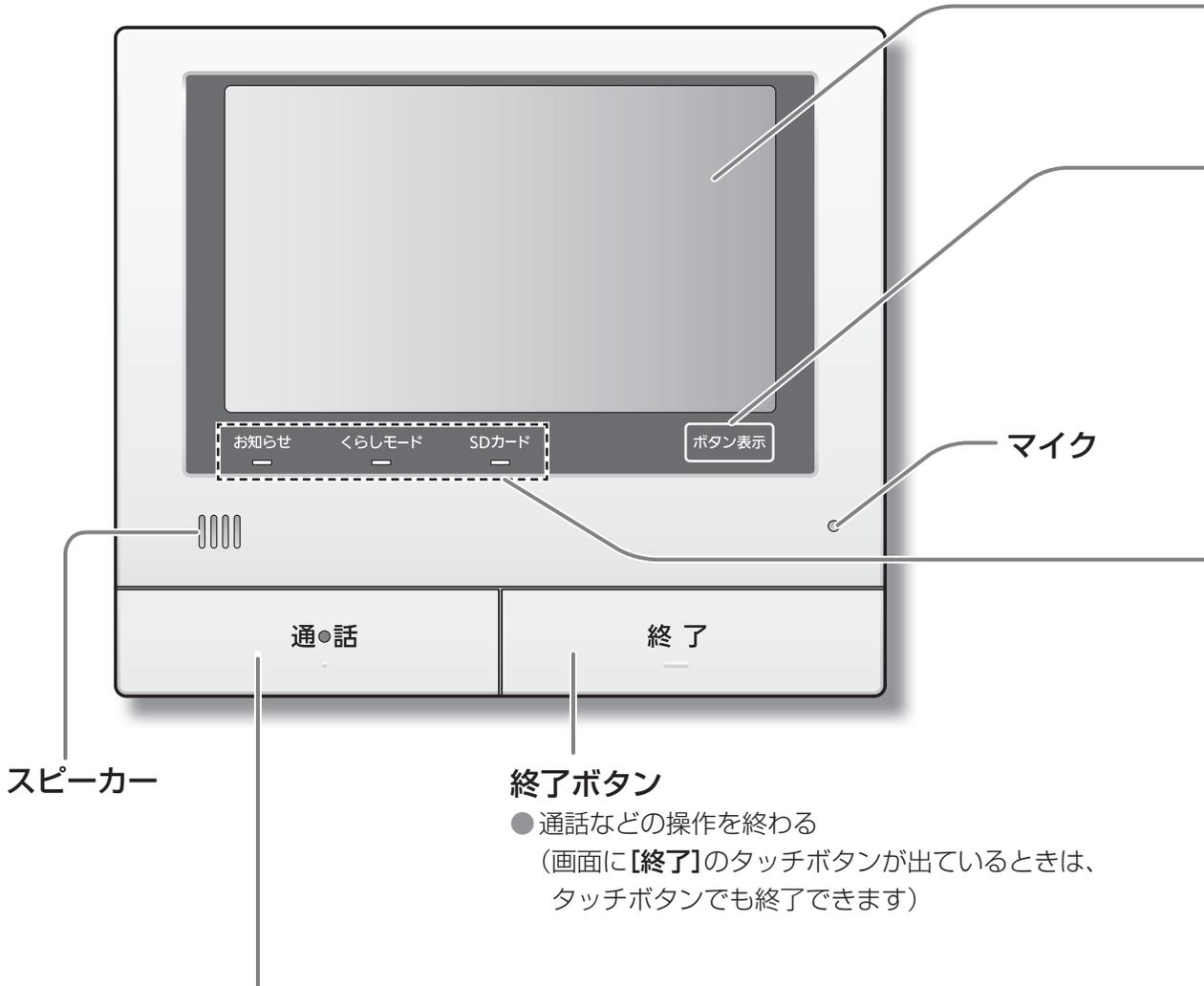


お知らせ

- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定(☞ 78ページ)に連動します。(「切」設定中は、音量「小」で聞こえます)

ドアホンの画質について

- 太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
- 夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
 - 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
 - LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。(補助灯などの設置をお勧めします)



スピーカー

終了ボタン

- 通話などの操作を終わる
(画面に【終了】のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも終了できます)

通話ボタン

- 来客や子機と通話する
(画面に【通話】のタッチボタンが出ているときは、タッチボタンでも通話できます)

通話ランプ(青：ボタン中央部)

- ドアホンや子機からの着信中(通話応答できる間)は点滅、通話中は点灯する

液晶ディスプレイ(タッチパネル)

- タッチすると、トップメニューを表示する
 - 使いかたや画面の見かたは(☞ 16ページ)
-
- 映像に重なって表示されるタッチボタンやマークを消す(☞ 17ページ)

お知らせ

お知らせランプ(青)

- 新しく録画した未確認画像(☞ 32ページ)や、確認してほしいお知らせがあるとき(☞ 76ページ)に点滅する
 - ランプの点滅は、画面にタッチしてトップメニューを表示すると消灯します。

くらしモード

くらしモードランプ(青/赤)

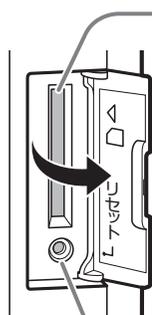
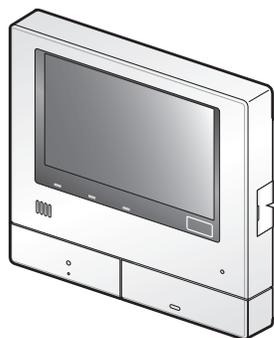
- くらしモード(☞ 39ページ)を利用するとき、現在の設定状態をランプでお知らせする
 - 在宅：消灯
 - 夜間：青点灯
 - 外出：赤点灯

SDカード

SDカードランプ(青)

- SDカードをご使用の場合に、データの読み出し中や書き込み中に点滅する(☞ 19ページ)

■ ふたを開けると…



SDカード挿入口

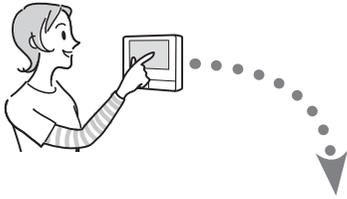
- SDカードをご使用の場合に、カードを出し入れする(☞ 20ページ)

リセットスイッチ

- 動作がおかしいとき、先端の細いもので押してドアホン親機を再起動する(録画した画像、登録した設定内容などは消えません)

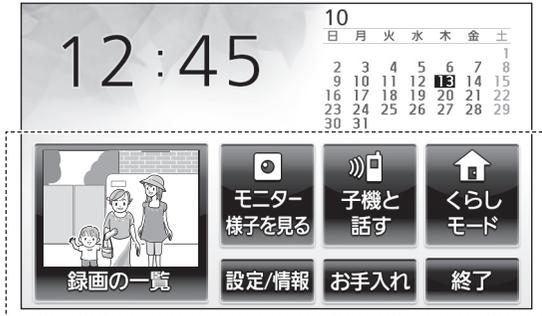
タッチパネルの使いかたと画面の見かた

指で直接タッチして操作します。



■ トップメニュー

日時設定後、黒画面をタッチして表示される画面



■ 映像表示画面

(例：着信中)



タッチボタン(画面上は紺色で表示されます)

操作できるボタンのみが表示され*1、場面に応じてボタン名が変わります。
操作するときは、下図のように画面にタッチする(軽く押す)



- 「ピッ」とタッチ確認音*2が鳴り、タッチしたボタンがオレンジ色になります。

*1 場面によっては、使えないボタンをグレーで表示します。

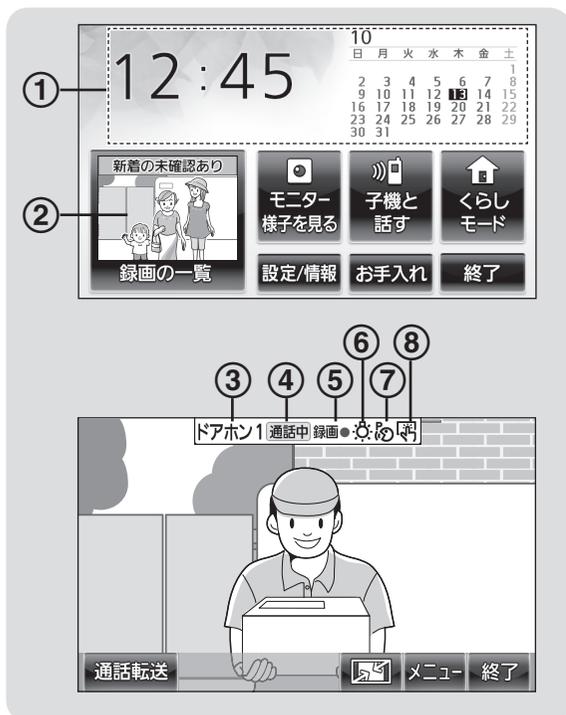
*2 「タッチ確認音」の設定(88ページ)で消すこともできます。

📞 お願い

- 液晶ディスプレイは傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
- ボールペンなど先端の硬いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。
- 液晶ディスプレイを強く押さえないでください。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。(タッチパネルが正常に動作しない場合があります)
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、液晶ディスプレイの内側がくもったり露(水滴)が生じて、正しく動作しないことがあります。無理にご使用にならず本機を1~2時間放置してからご使用ください。

画面の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。



① 日時の設定(☞ 21ページ)に応じて、現在の日時とカレンダーを表示する

- 右記の表示が出たとき、**【確認する】**をタッチすると詳細を表示します。(☞ 76ページ **A**)



② 新しく録画された未確認画像があると **新着の未確認あり** を表示する

- 画像をタッチすると、録画一覧画面を表示する(☞ 34ページ)

③ 着信中・通話中・モニター中の機器名を表示する

- ドアホン1~3
- カメラ1~4(カメラとの連携時のみ)

④ **通話中** ドアホン通話中に表示する

モニター中 モニター中に表示する(☞ 29、51ページ)

⑤ **録画●** 映像を録画中に表示する

⑥ **☼** ドアホンの照明が ON のときに表示する(☞ 26ページ)

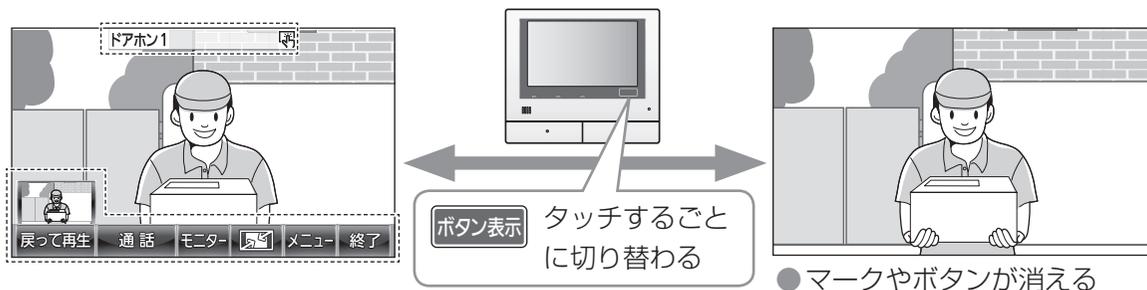
⑦ **☎** プレストーク通話中に表示する(☞ 25ページ)

⑧ **🔍** 映像にタッチして画面の操作ができるときに表示する(例)

- ワイドからズームへの切り替え/ズーム位置の切り替え(☞ 27ページ)

映像に重なるマークやボタンを消したいとき

着信中や通話中などの映像表示中に、画面下の**【ボタン表示】**をタッチしてください。



SDカードについて

本機は、本体メモリーまたはSDカードに、ドアホンやカメラの映像を録画できます。録画できる内容や件数などは記録先(本体メモリー/SDカード)によって異なります。(☞ 下表、31ページ)

- 本機にはSDカードは付属されていません。(使えるSDカードは☞ 下記)
- SDカードを挿入すると、記録先は自動的にSDカードになります。(記録先は選べません)

着信時の自動録画	SDカードがないとき (お買い上げ時)	SDカードを使うと…	録画・録音の詳細は (☞ 31ページ)
ドアホンの場合	録画1件につき 8枚の静止画を 本体メモリーに記録	録画1件につき 最大約30秒の動画を SDカードに記録	
カメラの場合	録画できません		

- SDカードを使うと、設定により、ドアホン通話の録音もできます。(最大約120秒)
- 本体メモリーに記録した画像は、必要に応じてSDカードにコピーできます。(☞ 98ページ)
- SDカードに記録した画像は、パソコンで再生することもできます。
(対応のOSなどは☞ 99ページ、フォルダー構造とファイル形式は☞ 100ページ)

本機で使えるSDカード

本機はSD規格に準拠した下記の種類のSDメモリーカードに対応しています。
(本書では、これらのSDメモリーカードを総称して「SDカード」と記載しています)

2 GB : SDメモリーカード/miniSDメモリーカード/microSDメモリーカード
4 GB ~ 32 GB : SDHCメモリーカード/miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカード
48 GB、64 GB : SDXCメモリーカード

- 動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。

【NTT東日本エリア】

http://web116.jp/shop/goods/dr_phone_p5/sd.html

【NTT西日本】

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/consumer/home/door-p5/sd.html>

- SDカードの容量と録画件数の目安については(☞ 31ページ)
- miniSDメモリーカード/microSDメモリーカード/miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカードを本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してください。
- SDカードの種類によっては読み出しや書き込みに時間がかかることがあります。
- マルチメディアカードは使用できません。

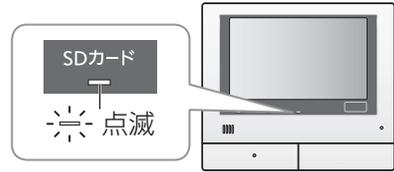
SDカードをお使いになるとき

SDカードの入れかたや取り出しかたは(☞ 20ページ)

■ データの読み出し中や書き込み中は

ドアホン親機のSDカードランプが点滅します。点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(☞ 15ページ)を押したりしないでください。

(データが破壊されることがあります)



大切なデータはバックアップをとることをお勧めします。データの損失などにより発生した損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ SDカードの取り扱いについて

- 電磁波、静電気、本機やSDカードの故障などにより、SDカード内のデータが壊れたり、消失することがあります。
- パソコンなど他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機でフォーマットしないと使えません。大切なデータはパソコンなどに保存したあとフォーマットしてください。(☞ 97ページ)

■ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

SDカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側になると、SDカードへの録画・録音、これらの保護、消去、フォーマット、データの更新ができなくなります。書き込み禁止スイッチを元に戻すと可能になります。



SDカードを廃棄・譲渡するとき

SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

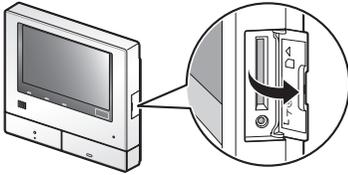
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去・削除」では、多くの場合、SDカード内のデータは完全には消去されません。譲渡の際は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

また廃棄の際は、SDカードを物理的に破壊するか、SDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールに従って、分別廃棄をお願いします。

SDカードを入れる／取り出す

SDカードは、画面が消灯している状態で挿入してください。

1 SDカード挿入口のふたを開ける



2 SDカードをまっすぐ押し込み、ふたを閉める



- SDカードランプが点滅し、録画情報の確認が始まる

SDカードを取り出さないでください。
録画情報を確認しています。
時間がかかる場合があります。

50%



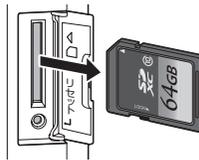
3 録画情報の確認が終わると、下記の画面になり、SDカードが使えるようになる

SDカードの準備ができました。
SDカードに録画します。

- SDカードランプが消灯し、画面も自動的に消灯する

SDカードを取り出すとき

SDカードランプが消灯している状態で、SDカード挿入口のふたを開け、SDカードの中央部を押して取り出す



SDカードはまっすぐ引き抜いてください。

お願い

- SDカードランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(15ページ)を押したりしないでください。(データが破壊されることがあります)
- 本機で使えるSDカード(18ページ)以外は入れないでください。
- SDカードの裏の接続端子部に触れないでください。

日時(時計)を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。必ず設定してください。(未設定時は「お知らせランプ」が点滅し、画面をタッチしたときに日時設定を促すお知らせ画面が表示されます)

1 <お知らせ画面>

お知らせ
時計を設定してください
日時を設定する
画面のボタンをタッチすると時計を設定できます

お知らせランプ(点滅)

[日時を設定する]をタッチする

2 日時設定

2011年 8月 1日(月) 0時 00分

[+]または[-]をタッチして日時を合わせる

- [+]または[-]をタッチし続けると数字が早く切り替わる

3 (例：2013年3月1日13時45分)

日時設定

2013年 3月 1日(金) 13時 45分

日時を合わせ終わったら、[決定]をタッチする

- 「ピー」と鳴って日時が設定され、画面が消灯する

日時を変更するとき

設定変更は、トップメニューから行います。

- ① 画面にタッチして、トップメニュー(下記)を表示させる**

- ② [設定/情報]をタッチする**

- ③ [設定を変更]をタッチする**

- ④ [最初の設定]をタッチする**

- ⑤ [日時設定]をタッチする**

- ⑥ 左記の手順2、3を行う**
 - 「ピー」と鳴り、日時が設定される
- ⑦ 終わったら、[終了]を押す**

日時(時計)を設定するSDカードについて

お知らせ

- 停電時には設定した日時が消えることがあります。その際は再設定してください。
- 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。

映像の表示範囲を設定する

ワイド/ズーム/全体表示の設定(着信画面設定)

ドアホンから呼び出されたとき(着信画面)の映像表示のしかたを設定します。
(ワイド/ズーム対応のドアホンが2台以上あるときは、個別に設定できます)



※1 デジタルズームのため、ワイド表示や全体表示に比べて画質が粗くなります。
※2 全体表示に比べて、上下の映像が少し切れます。

- 1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする
- 2 [設定を変更]をタッチする
- 3 [最初の設定]をタッチする
- 4 [着信画面設定]をタッチする
- 5 設定するドアホンをタッチする
- 6 表示させたい設定をタッチする

現在の設定値

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる
- 7 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- 「ズーム」に設定したとき
 - ・人物がなるべく中心に映るように、表示位置を調整してください。(P.23ページ)
 - ・録画の際は、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。
- 上記の設定に関わらず、モニター時の映像は常にワイド表示で開始されます。

ズーム位置の設定

着信画面設定(☎ 22ページ)を「ズーム」にしたときや、子機でドアホン映像を「ズーム」したとき、画面にどの位置をズームで映すかを設定します。人物がなるべく中心に映るように、表示位置を調整してください。(ワイド/ズーム対応のドアホンが2台以上あるときは、個別に設定できます)

1

トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2

[設定を変更]をタッチする



3

[最初の設定]をタッチする



4

[ズーム位置設定]をタッチする



5

設定するドアホンをタッチする



- 現在のドアホン映像がワイドで表示される

6

ズームで映したい位置を
タッチする

- 画面上部に  表示中は、タッチすることによってズーム位置を調整できる



ワイドに戻って調整
をやり直すときは、
ここをタッチする

7

表示されている位置で設定するとき、
[この位置に決定]をタッチする

- 「ピー」と鳴り、「設定しました」を表示して自動的に終了する

映像の表示範囲を設定する

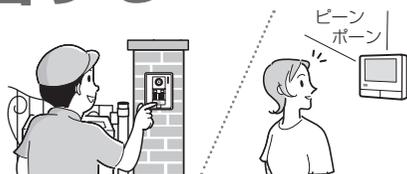
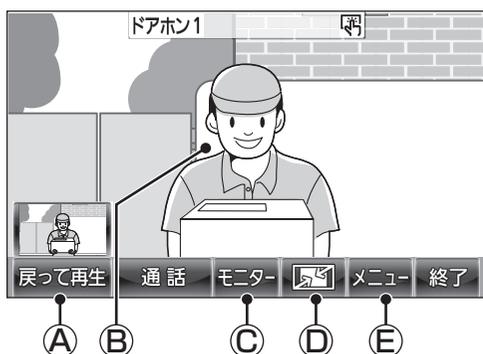
お知らせ

- ズーム位置設定中のドアホン映像は約90秒で自動的に終了します。操作途中でドアホン映像が終了した場合、設定は完了していません。(もう一度最初からやり直してください)

来客の呼び出しに応答する

1

ドアホンの呼び出しボタンが押されると
呼出音が鳴り、相手の映像が映る



- A 着信時の録画確認 (☞ 25ページ)
- B ズーム、パン・チルト (☞ 27ページ)
- C 通話せずに、相手側の音声を聞く
- D ワイド/全体表示 (☞ 27ページ)
- E 音や表示の調整 (☞ 26ページ)

2

通話 を押し、相手と話す



約50 cm以内で
相手と交互に話す
● 同時に話すと声が途切れる

- 通話時間：約1分
(終了の約10秒前に表示でお知らせ)



タッチすると、
約1分延長できる
(通話延長)

3

終わったら、**終了** を押す

音声応答 (☞ 82ページ) の設定をすると、ボタンを押さずに声で応答できます



呼出音が鳴ったら、声で応答する (相手には聞こえない)

- 「ピッ」と鳴ったら、話ができます
- 周囲の音に反応して応答してしまうことがあります
 - ・ ペットの鳴き声やテレビの音など
 - ・ 子機の呼出音 (子機を近くに置いているとき)

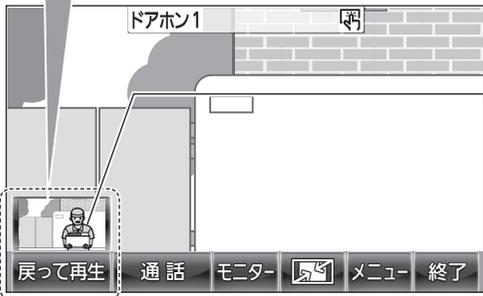
お知らせ

- 呼出音が鳴ってから約30秒以内に応答しないと、映像が消えます。
- 着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。(☞ 32ページ)
- 「ただいまコール」(☞ 13ページ)の呼びかけには、音声応答はできません。
- ドアホン着信中や通話中に別の呼び出しがあったとき(☞ 73ページ)

着信画面に誰も映っていないとき（戻って再生）

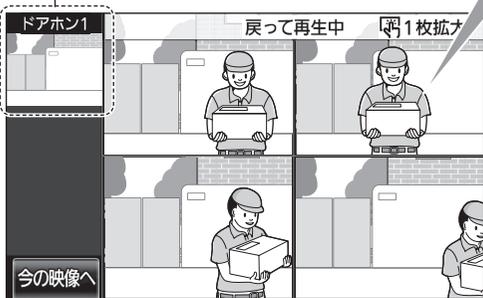
ドアホン親機では、着信時の映像を一時的に録画しています。（着信の約2秒後から約1秒おきに最大4枚）着信中の画面でこの録画画像を表示し、呼び出してきた相手を確認することができます。

着信中に**[戻って再生]**をタッチする



着信時の録画画像の1枚を表示

今の映像



（着信時の録画画像を一覧表示）

見たい画像にタッチすると、拡大して見ることができる



- 画像一覧に戻るには → **[4枚表示]**をタッチ
- 今の映像に戻るには → **[今の映像へ]**をタッチ

来客の呼び出しに応答する

自分や相手の周囲が騒がしく話しにくいとき（プレトーク通話）

プレトーク通話では、送話と受話を手で切り替えるので、周囲が騒がしいときでも声が伝わりやすくなります。

通話中、「ピッ」と鳴るまで **通話** を約2秒間押し、プレトーク通話に切り替える

- 画面に を表示

■ 話すとき（送話）

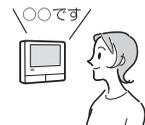
通話 を
押しのまま話す



押している間は、相手の声が聞こえません

■ 聞くとき（受話）

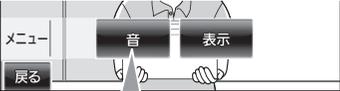
通話 から
指を離す



こちらの声は相手に聞こえません

音の調整

1  **[メニュー]をタッチする**

2  **[音]をタッチする**

3  着信中は「呼出音量」になる

受話音量を 変えるとき <small>通話中・モニター中</small>	小さく または 大きく タッチして 調整する
ドアホンへの 送話音量を 変えるとき	小 <small>標準</small> 送話音量 タッチして 切り替える
自分の声を 低く変えるとき (ボイスチェンジ)	OFF ON ボイスチェンジ タッチして 切り替える
呼出音量を 変えるとき <small>着信中のみ</small>	小さく または 大きく タッチして 調整する 「切」(鳴らない)にするには 呼出音量 切 となるまで「小さく」を タッチし続ける ●「切」の解除 → 大きく をタッチする

表示の調整

1  **[メニュー]をタッチする**

2  **[表示]をタッチする**

3 

画面の明るさ を変えると き	暗く または 明るく タッチして 調整する
ドアホンの 逆光補正を するとき	OFF ON 逆光補正 タッチして 切り替える 「-」 : 顔が明るく映るとき (暗くします) 「OFF」: 逆光補正をしない 「+」 : 顔が暗く映るとき (明るくします)
ドアホンの 照明をON/ OFFするとき	OFF ON 照明 タッチして 切り替える ●「ON」にすると画面に  を表示

お知らせ

●「送話音量」を変えると、子機からドアホンへの送話音量も変わります。

映像の表示範囲を切り替える

表示中の映像を一時的にワイド/ズーム/全体表示に切り替えたり、ズーム位置の切り替え(パン・チルト)ができます。

- ズームやパン・チルトなど映像に直接タッチして操作ができる場面では、画面上部に  が表示されます。

〈ワイド表示〉



ズームしたい位置を
タッチする

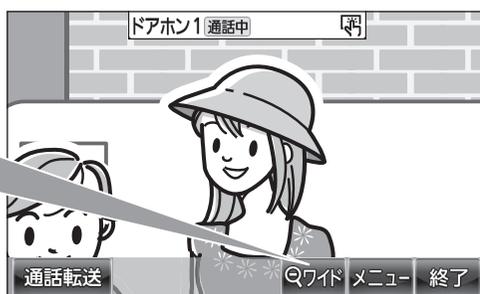
タッチすると全体表示
になる( 下記)

〈ズーム表示〉



さらに見たい位置をタッチする
(パン・チルト)

ワイドに戻るには
 をタッチする



〈全体表示〉



全体表示からワイド/ズームに切り替える
こともできます。

- ワイドにするには →  をタッチ
- ズームにするには → **映像**をタッチ

お知らせ

- デジタルズームのため、ズーム表示ではワイド表示や全体表示に比べて画質が粗くなります。
- 上記の操作で表示を切り替えても、画面を終了すると元に戻ります。
ドアホンからの呼び出し映像の表示設定を変えるには、22、23ページの「着信画面設定」や「ズーム位置設定」をしてください。
- ズーム表示中に録画すると、画面に表示された範囲の映像しか録画されません。

ドアホン通話を転送する



転送する側



受ける側

1

ドアホン通話中に、
[通話転送]をタッチし、
転送先の相手に呼びかける



■ 転送先が複数あるとき(例：子機6台)

転送先をタッチして呼びかける



「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

通話 を押して話す



2

相手が出たら、
通話を転送することを伝え、
[子機で来客と話してもらう]
をタッチする



- 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、
ドアホン側の相手と話す

- 終わったら、

終了 を押す



■ 子機からの転送をドアホン親機で受けるとき

- ① 「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 **通話** を押して子機と話す
- ② ドアホンの映像が映ったら、ドアホン側の相手と話す(終わったら、 **終了** を押す)

お知らせ

- 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
- 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには → **[来客と話す]** をタッチ
- ドアホン通話を転送中に別の呼び出しがあったとき (75ページ)

ドアホン側の様子を、映像と音で確認できます。

- こちらの声はドアホン側には聞こえません。



1

トップメニューで [モニター 様子を見る] をタッチする



■ ドアホンが2台以上あるとき

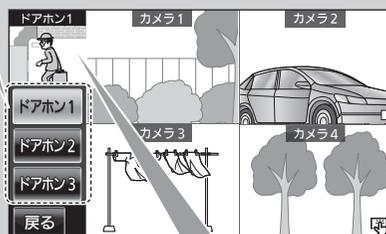
① 見たい場所をタッチ



② ここをタッチ

■ カメラがあるとき

① 見たい場所をタッチ



② ここをタッチ



A

B

C

D

- モニター映像が表示される (常にワイド表示)

- モニター先の相手に話しかけるには

→ **通話** を押す

Ⓐ ズーム、パン・チルト (📖 27ページ)

Ⓑ モニター映像の録画 (📖 33ページ)

Ⓒ ワイド/全体表示 (📖 27ページ)

Ⓓ 音や表示の調整 (📖 26ページ)

2

終わったら、 **終了** を押す

お知らせ

- モニター時間は約90秒です。

ただし、モニター中に何か操作すると、最大3分まで延長されます。

- モニター中に別の呼び出しがあったとき (📖 73ページ)

ドアホン側の様子を見る(ドアホンモニター) ドアホン通話を転送する



呼び出す側



受ける側

1

トップメニューで
【子機と話す】をタッチし、
相手に呼びかける



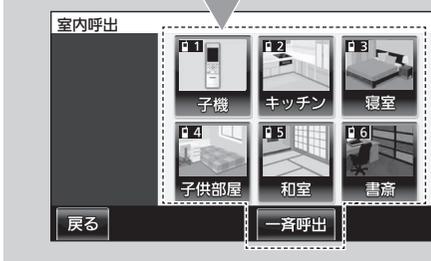
「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

通話 を押して話す



■ 呼び出し先が複数あるとき(例：子機6台)

呼び出し先をタッチして呼びかける



2

相手が出たら、話す



- 受話音量を変えるには
【受話音量】をタッチして変更する



3

終わったら、 **終了** を押す

■ 子機からの呼び出しをドアホン親機で受けるとき

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、 **通話** を押して子機と話す

お知らせ

- 室内呼び出しや着信は呼出音が鳴ってから約30秒、通話は約60秒で終了します。
- 室内通話中に別の呼び出しがあったとき(☎ 75ページ)

録画・録音機能について

記録先(本体メモリー/SDカード)によって、記録できる内容や件数などが異なります。

- SDカード挿入時は自動的に記録先がSDカードになります。(記録先を選ぶことはできません)
- 使用可能なSDカードやSDカードの取り扱いについては(☞ 18ページ)

内 容		記録先	
		SDカードなし  本体 メモリー	SDカードあり  SDカード (2 GB~64 GB)
録画対象		ドアホン映像 (☞ 32ページ)	ドアホン映像や通話 (☞ 32ページ) カメラ映像 (☞ 56ページ)
録画件数		最大50件	合わせて最大3000件*1
保護件数(☞ 38ページ)		最大20件	合わせて最大20件
1件あたりの録画内容	着信時(自動録画)	静止画：最大8枚	動画：最大約30秒
	モニター時(手動録画)	静止画：最大8枚	動画：最大約30秒
	ドアホン通話時	録画できません	動画+音声： 最大約120秒*2 —

※1 SDカードの容量によって異なります。容量と録画件数の目安は(☞ 下記)

※2 「ドアホン通話自動記録」の設定が「する」のとき(☞ 33、83ページ)

■ SDカードの容量と録画件数の目安

下表は、お買い上げ時の設定(ドアホン着信自動録画「する」、ドアホン通話自動記録「しない」、カメラ検知自動録画「する」)で使用した場合の目安です。

容 量	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
録画対象							
ドアホン映像のみ	約125件	約255件	約520件	約1040件	約2090件	約3000件	約3000件
カメラ映像のみ	約150件	約300件	約610件	約1230件	約2470件	約3000件	約3000件

- カメラをご使用の場合は、4 GB以上のSDカードをお使いいただくことをお勧めします。
- 上記の録画件数は理論値によって計算しているため、実際と異なる場合があります。
- SDカードにはファイルシステムなどの管理情報の保存領域があるため、実際に使える容量が少なくなります。また、他のデータが保存されていると、録画件数は少なくなります。

ドアホンの映像や通話を録画・録音する

着信映像を自動で録画する（ドアホン着信自動録画）

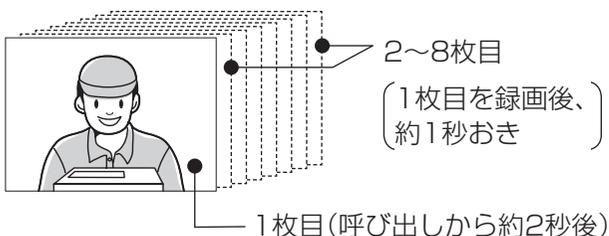
来客から呼び出しがあると、応答する/しないに関わらず、相手の映像を自動で録画します。
 (☎ 83ページ「ドアホン着信自動録画」：お買い上げ時の設定「する」)

呼び出しがあると、約2秒後に
 下記のように録画します



■ 本体メモリーへの録画の場合

約1秒おきの静止画を8枚録画



■ SDカードへの録画の場合

最大約30秒の動画を録画

応答しなかったとき…

録画した画像は未確認画像となり、
 下記でお知らせします



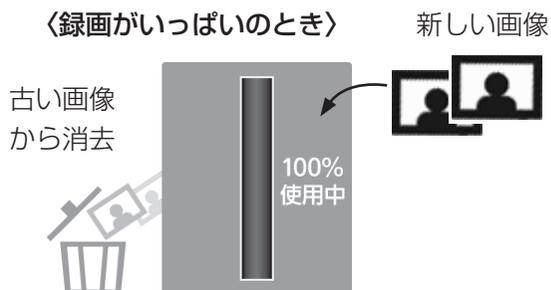
お知らせ

- 「戻って再生」(☎ 25ページ)をした場合、呼び出しに応答していなくても、録画した画像は確認済み扱いになります。
- 通話中やモニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき(☎ 73ページ)は、呼び出しに
 応答するなどして、着信中のドアホン映像を画面に表示しないと録画はされません。
- 次の場合は、録画枚数(8枚)や録画時間(最大約30秒)が少なくなることがあります。
 - ・着信中に終了操作をしたとき
 - ・ドアホンが複数あり、着信中に別のドアホンから呼び出しがあったとき

本体メモリーやSDカードの録画がいっぱいになったとき(録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から
 順に自動で消去されます。このため、手動で
 画像を消去しなくても、録画ができなくなる
 ことはありません。

- 未確認の画像でも消去されます。
- 消したくない画像は、保護設定する
 ことができます。(☎ 38ページ)



通話の内容を自動で録画・録音する（ドアホン通話自動記録）

SDカードを使うと、通話の映像と音声(会話)を自動で録画・録音できます。
この機能を使うには、あらかじめ設定の変更が必要です。

(☞ 83ページ「ドアホン通話自動記録」：お買い上げ時の設定「しない」)



設定を「する」にして、呼び出しに「通話」応答すると…



応答してから通話が終わるまで、最大約120秒の音声付き動画をSDカードに録画します。

- 着信映像も自動録画しているとき(☞ 32ページ)は、着信から通話終了までを1件の動画として記録します。(最大約150秒)

モニター映像を手動で録画する

モニター時の映像を、必要に応じて手動で録画する機能です。



録画中は **録画●** が表示される

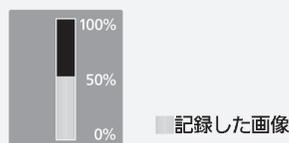
モニター映像を表示中に
【録画】をタッチする

- 本体メモリーへの録画の場合
約1秒おきの静止画を8枚録画
- SDカードへの録画の場合
最大約30秒の動画を録画
(録音はされません)

- 本体メモリーやSDカードの録画状況を情報表示画面で確認できます。
(☞ 76、77ページ (E))

情報表示 録画状況

本体メモリーに保存しています。
空き：52%



録画を再生する

新しく録画された未確認画像があるときは「お知らせランプ」が点滅し、トップメニューに **新着の未確認あり** が表示されます。



1

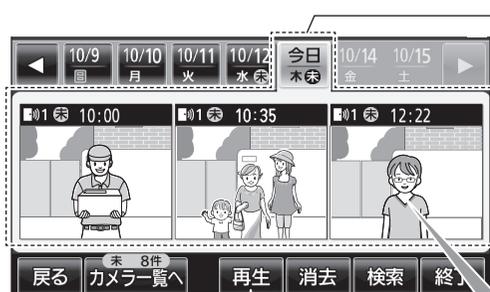


新しく録画された未確認画像が

- あるとき：未確認の最新画像を表示
- ないとき：最新画像を表示

トップメニューで
[録画の一覧] をタッチする

2



日付ごとの録画一覧がカレンダーで表示される

- 別の日の録画一覧を見るには
→ 見たい日付のボタンをタッチする
- カメラの録画一覧を見るには
→ [カメラ一覧へ] をタッチする
- 画面の見かたや再生中の機能
(☞ 35ページ)

カメラの録画が
あるときのみ表示

選んだ日以降の録画をすべて見るには
[再生] をタッチする

表示画像の中の1件を見るには
見たい画像 をタッチする



- 音声案内が流れ、録画の古い順に最新画像までを自動再生する
- 終わったら、**終了** を押す



- 音声案内が流れ、選んだ1件を再生する
- 終わったら、**終了** を押す

お知らせ

- 「お知らせランプ」の点滅はトップメニューを表示すると消灯し、トップメニューの **新着の未確認あり** は録画一覧を表示すると消えます。

再生画面の見かたと再生中の機能

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

録画一覧の画面

前週へ ◀ 10/9 10/10 10/11 10/12 今日 10/14 10/15 ▶ 次週へ

未確認画像あり

撮影機器 録画時刻 録音あり

未確認 保護済み (🔒 38ページ)

● 4件以上のときは8分割表示

未確認画像の件数
カメラの録画一覧へ
(カメラ一覧のとき: ドアホン一覧へ)

画像を検索 (🔍 37ページ)

一日分の録画を
消去 (🗑️ 38ページ)

前/次ページへ

再生中の画面

撮影機器 録画日時

ドアホン 今日 10:00:未 再生▶ 消音 保護

未 : 未確認

再生▶ : 現在の再生状態(一時停止など)

消音 : 消音中(🔇 36ページ)

🔒 保護 : 保護済み(🔒 38ページ)

SD : SDカード再生

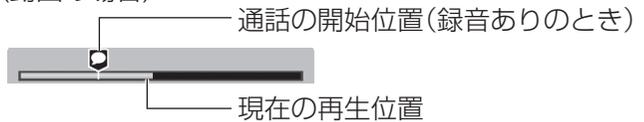
👆 : 画像にタッチでズームできる

■ 再生の経過を表示します

〈静止画の場合〉



〈動画の場合〉



	操作ボタン	機能説明
再生中	◀ / ▶	1件ずつ戻す/送る
	メニュー	保護/消去 (🔒 38ページ)、音量・明るさの調整 (🔇 36ページ)
	📷 (🔍、📧)	表示範囲の切り替え (🔍 36ページ)
	または画像をタッチ	● 再生は一時停止になる
	🗨️ 通話 頭出し	通話録音がある画像のとき、通話の開始位置から再生する
	⏸	一時停止する
一時 停止中	▶	再生を再開する
	◀ / ▶	1コマ(1枚)ずつ戻す/送る

再生中に 音や表示を調整する

音量や明るさの調整

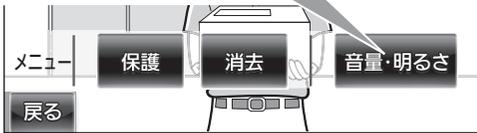
1

[メニュー]をタッチする

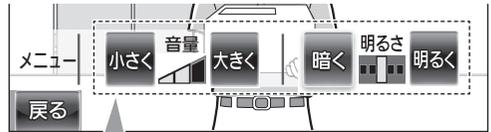


2

[音量・明るさ]をタッチする



3



音声案内など、再生中の音量を変えるとき

小さく または 大きく タッチして調整する

音を消す(「消音」にする)には音量消音 となるまで[小さく]をタッチし続ける

●「消音」の解除
→ [大きく]をタッチする

画面の明るさを変えるとき

暗く または 明るく タッチして調整する

再生画像の表示範囲を切り替える

通話中などと同様に、ワイド/ズーム/全体表示の切り替えや、パン・チルトができます。

- 再生画面は、常にワイド表示で始まります。
- ズームで録画した画像も、再生時にさらにズームすることができます。(ただし、画質は粗くなります)

〈ワイド表示〉



ズームしたい位置をタッチする

タッチすると全体表示になる(📺 下記)

〈ズーム表示〉



- ワイドに戻るには → 📺 をタッチ
- ズーム位置を切り替えるには(パン・チルト) → さらに見たい位置をタッチ

〈全体表示〉



全体表示からワイド/ズームに切り替えることもできます。

- ワイドにするには → 📺 をタッチ
- ズームにするには → 画像をタッチ

画像を検索する(探す)

カレンダーで日付を選んで画像を表示させたり(カレンダー検索)、保護画像だけを表示させたり(保護画像検索)できます。SDカード使用時など、たくさんの画像の中から必要な画像を探すときに便利です。

●下記の説明は、SDカード使用時(ドアホンとカメラの画像あり)を例にしています。

カレンダーから探す

(例：ドアホンの画像を検索する場合)

1

トップメニューで
[録画の一覧]をタッチする



2

ドアホン録画一覧を表示中に
[検索]をタッチする



3

[カレンダー]をタッチする

- 下記のようなカレンダーが表示され、録画がある日付がボタン表示になる

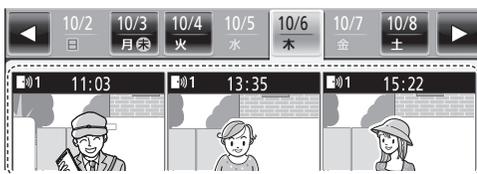
4

探したい日付をタッチする



※

- タッチした日付の録画一覧を表示



画像にタッチすると、その画像を再生して停止する

保護画像から探す

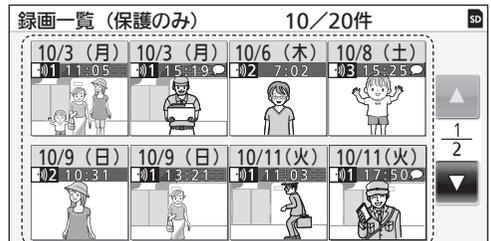
1

左記の手順1、2を行う

2

[保護のみ表示]をタッチする

- ドアホンとカメラのすべての保護画像の一覧が表示される



画像にタッチすると、その画像を再生して停止する

画像を検索する(探す)
再生中に音や表示を調整する

※カレンダー(ドアホン/カメラ)切替ボタン

〔カメラのカレンダーを表示中は〕
〔【ドアホンへ】と表示されます〕

お知らせ

- SDカード使用時に、本体メモリーにも画像があるときは、手順3で下記のような画面になります。



タッチすると本体メモリーの録画一覧を表示

画像を保護／消去する

録画がいっぱいになると、古い画像から自動で消去されます。(☞ 32ページ「録画の自動更新」)
消したくない画像は保護してください。また不要な画像は、再生中に1件単位で消去したり、
保護画像を残して一日分をまとめて消去することができます。

- 記録先(本体メモリー/SDカード)のすべての画像を一度に消去したいときは
(☞ 83ページ「画像全消去」)

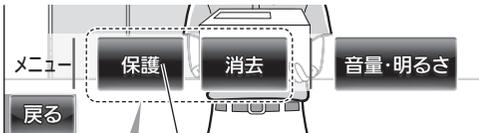
再生中の1件を保護／消去する

1

保護／消去したい画像を再生中に
[メニュー]をタッチする



2



保護済みのときは
「保護解除」に変わる

画像を保護 するとき

保護 をタッチする

- 保護されると、
画面に **on 保護** を表示

保護を解除するには

保護解除 をタッチする

- **on 保護** の表示が消える

画像を消去 するとき

消去 をタッチし、

確認画面が出たら、

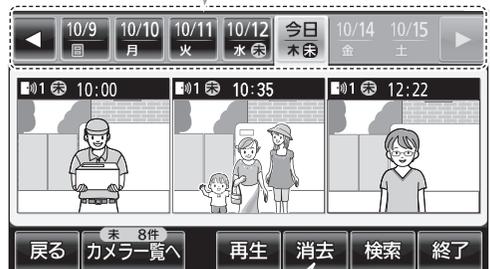
はい をタッチする

一日分の画像を消去する

1

録画一覧画面で
消去したい日付を選ぶ

- カレンダーで検索するには
(☞ 37ページ)



2

[消去]をタッチする

3

今日(10/13)のすべて
の録画画像を消去しますか？

保護画像は消去されません。

はい いいえ

保護画像があるとき表示

[はい]をタッチする

お知らせ

- 保護件数は、本体メモリーとSDカードでそれぞれ最大20件です。保護件数がいっぱいになるとそれ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。
- 検索機能を使うと、保護画像だけをまとめて表示できます。(☞ 37ページ)

暮らしモードを使うと、簡単操作で、暮らしの場面に適した動作に変更できます。

- カメラや窓センサーと連携すると、より便利に使うことができます。
 - カメラボタンを使って、一時的にセンサー検知を休止できます。(P.53ページ)
 - 在宅/夜間/外出にあわせて、窓センサーの報知レベルを変更できます。(P.下記)
- 画面や説明は、カメラと窓センサー利用時の状態を例にしています。



■ 在宅/夜間/外出モードでのお買い上げ時の動作

	<p>ドアホン・カメラから呼び出しがあると…</p> <p>(例)</p>	<p>窓が開いて、窓センサーが反応すると…</p>
<p>在宅モード </p> <p>通常の動作モードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> •暮らしモードランプ 消灯 	<p>ピーン ポーン</p> <p>呼出音が鳴り、映像が表示されます。</p>	<p>ポンポン ポンポン</p> <p>窓が開くと、報知レベル「低い」で動作します。</p>
<p>夜間モード </p> <p>静かに過ごしたいときなどに便利なモードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> •暮らしモードランプ 青点灯 	<ul style="list-style-type: none"> •呼出音は鳴りません。 •操作時のタッチ確認音も鳴りません。 •ドアホン通話時は、外に聞こえる送話音量が「小」になります。 	<p>ブルブルルブルブルル</p> <p>窓が開くと、報知レベル「高い」で動作します。</p>
<p>外出モード </p> <p>外出するときのモードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> •暮らしモードランプ 赤点灯 	<p>ピーン ポーン</p> <p>呼出音が鳴り、映像が表示されます。ドアホン親機の映像(画面)は、表示しないように設定することもできます。</p>	<p>ブルブルルブルブルル</p> <p>窓が開くと、報知レベル「高い」で動作します。</p>

暮らしモードについて(在宅/夜間/外出) 画像を保護/消去する

- 窓センサーの報知レベルと動作については(P.66ページ)
- 各モードの設定内容は変更することもできます。(P.42ページ)

暮らしモードを切り替える

各モードの動作をご理解のうえ、暮らしの場面にあわせて切り替えてください。

- 夜間モードの場合、毎日指定した時間帯に自動で切り替わるように、タイマー設定することもできます。(P.41ページ)

1

トップメニューで
[暮らしモード]をタッチする

現在の設定モードのマークを表示
(例：在宅モード)

2

切り替えたいモードを選んで
タッチする
(例：「在宅」から「外出」に切り替え)

- 確認メッセージが出たとき
→ 表示に従って操作する
- 「ピー」と鳴って選んだモードに設定され、「暮らしモードランプ」が変化する
 - ・在宅：消灯
 - ・夜間：青点灯
 - ・外出：赤点灯

選んだモードの現在の設定内容を表示

- 設定内容を変えるには
→ [詳細設定]をタッチ(P.42ページ)

3 終わったら、 **終了** を押す

タイマー設定で、夜間モードにする

下記の操作で、夜間モードにしたい時間帯を設定してください。

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする



2 [詳細設定]をタッチする



3 [夜間]をタッチする



4 [タイマー設定]をタッチする



現在のタイマー設定の状態を表示

5 [あり]をタッチする



6 [+]または[-]をタッチして
時間帯を指定する

- [+]または[-]をタッチし続けると数字が早く切り替わる

(例：22時から6時)



7 時間帯を指定したら、
[決定]をタッチする

- 「ピー」と鳴り、タイマーが設定される

8 終わったら、**終了** を押す

タイマー設定を解除するとき

- ① 上記の手順1～4を行い、手順5の画面で[なし]をタッチする
- ② 終わったら、**終了** を押す

くらしモードを切り替える

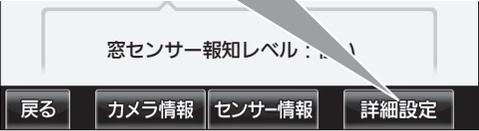
各モードの設定内容を変える

各モードで設定できる内容とお買い上げ時の設定は、下表のとおりです。
必要に応じて設定を変更してください。

1 トップメニューで
[暮らしモード]をタッチする



2 [詳細設定]をタッチする

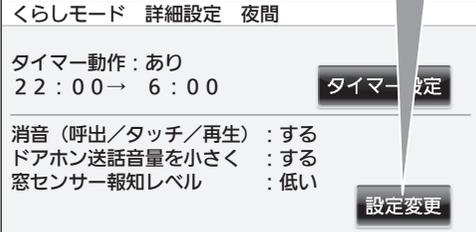


3 設定内容を変えるモードを選ぶ



4 「夜間」を選んだとき

[設定変更]をタッチする



「夜間」以外を選んだとき
手順5へ

5 設定内容を選んでタッチする

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

6 終わったら、
[終了]を押す

 のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

設定モード	設定できる内容	
在 宅	窓センサー報知レベル	OFF、 低い 、高い
夜 間	消音(呼出/タッチ/再生)	する 、しない
	ドアホン送話音量を小さく	する 、しない
	窓センサー報知レベル	OFF、 低い 、高い
外 出	着信時に画面を表示	する 、しない
	窓センサー報知レベル	OFF、低い、 高い

- 窓センサー報知レベルの詳細は(📖 66ページ)
- 消音「する」のときに鳴らない音について
 - ・ ドアホン親機：ドアホンとカメラの呼出音、操作中にスピーカーから出る音(タッチ確認音や録画再生の音声など)
 - ・ 子機：ドアホンとカメラの呼出音のみ

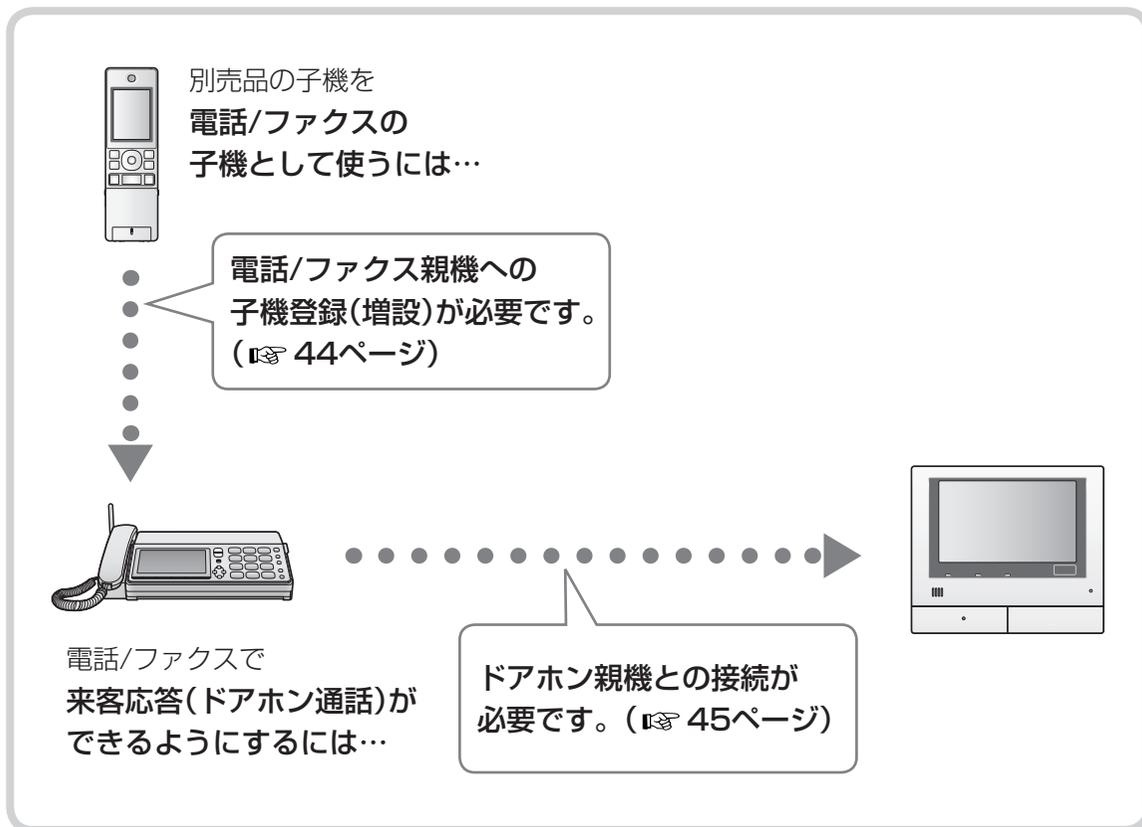
電話/ファクスとの連携について

対応の電話/ファクスと連携すると、別売品の子機(1.9GワイヤレスモニターP5)を電話の子機として使ったり、電話/ファクスで来客応答(ドアホン通話)ができるようになります。

●連携できる電話/ファクスは**1台のみ**。対応機種は以下のとおり。(2013年2月現在)

電話機 : DCP-5700Pw/5700P

ファクス : P-722PDw/722PD



電話/ファクスとの連携について
各モードの設定内容を変える

お願い

- 子機を電話/ファクス親機に登録してドアホン/電話両用で使うときは、設置場所にご注意ください。ドアホン親機と電話/ファクス親機が離れすぎている、間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えなくなります。(☞ 8、9ページ)

別売品の子機を電話/ファクス親機に登録する(増設)

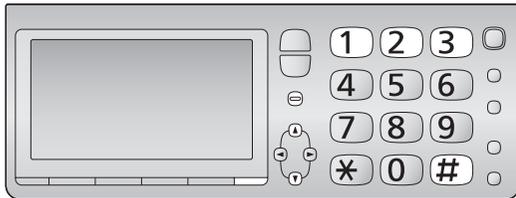
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

- 電話/ファクス親機の操作はP-722PDの例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。



電話/ファクス親機の操作

(P-722PD)



1

電話機コードを抜く

- 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、 で表示を消してください

2

 を押し、

    を押す

子機増設

子機2

子機3

- 空いている番号のみ表示

3

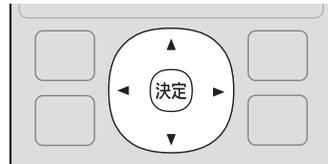
 で増設する子機番号を選び、

 を押す

続けて、約2分以内に子機を操作する



子機の操作



4

子機の画面に「増設してください」が表示されているとき

 (増設) を押す

子機増設

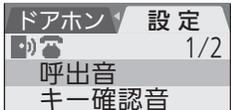
ドアホン

電話/ファクス

既にドアホン親機に登録済みのとき

①  (メニュー) を押し、 で

[設定]メニューを開く



②  で [子機増設] を選び、

 を押す

5

 で [電話/ファクス] を選び、

 を押す

6

 (登録) を押す

ファクス登録完了

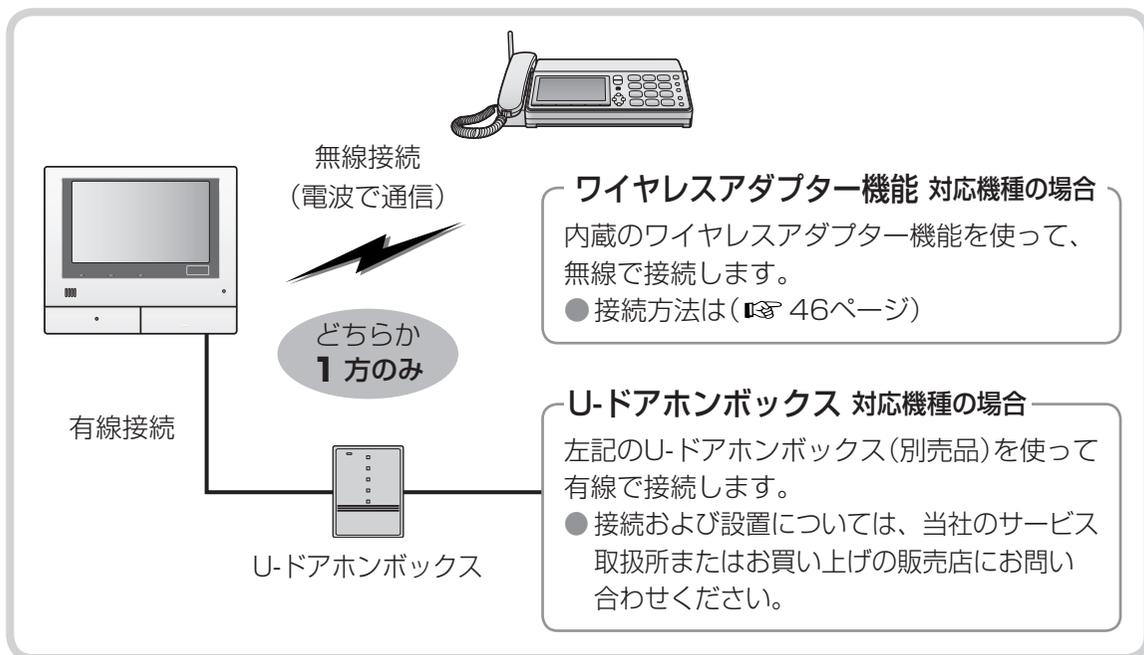
- 終わったら、電話/ファクス親機の電話機コードを接続する

お知らせ

- 増設後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
→ ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているため、故障ではありません。
- 2台以上の子機(1.9Gワイヤレスモニター-P5)をドアホン/電話両用で使う場合、子機はすべて1台の同じ電話/ファクス親機に登録してください。

電話/ファクスで 来客応答できるようにするには

ドアホン親機と電話/ファクス親機の接続が必要です。



■ ワイヤレスアダプター機能を使った接続について

親機同士の通信に電波を使うため、電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください。

- ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。

ドアホン親機と離れすぎていたり、100 m以内でも別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがあるとき(☎ 8、9ページ)は、電波が弱くなり、電話/ファクスでのドアホン通話ができなくなることがあります。

ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えません。親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。

■ U-ドアホンボックスを使った接続について

電話/ファクスで来客応答できるドアホンは2台までです。

3台目のドアホンを増設した場合、電話/ファクスでは3台目のドアホンとの通話はできません。

🍀 お知らせ

- 電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機と電話/ファクス間では、内線通話やドアホン通話の転送はできません。
- 接続後の使いかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
- ワイヤレスアダプター機能で接続すると、中継アンテナの登録が制限されます。(☎ 93ページ)

電話/ファクスで来客応答できるようにするには
 子機(19)Gワイヤレスモニター(P5)で電話ができるようにするには

ワイヤレスアダプター機能で接続設定をする

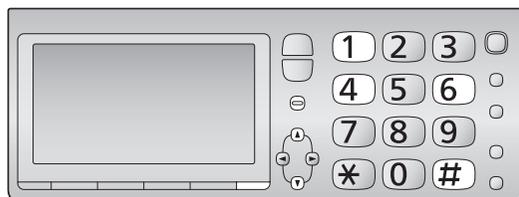
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

- 電話/ファクス親機の操作はP-722PDの例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。



電話/ファクス親機の操作

(P-722PD)



1 電話機コードを抜く

- 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、^{ストップ}  で表示を消してください

2 機能/決定 を押し、

1 6 4 を押す

ワイヤレスアダプター設定
増設
減設

3  で「増設」を選び、機能/決定 を押す

ドアホン親機を
操作してください

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する



ドアホン親機の操作

4

トップメニューで
[設定/情報] をタッチする



5

[設定を変更] をタッチする

6

[登録/減設] をタッチする

7

[登録] をタッチする

8

[ワイヤレスアダプター機能] を
タッチする

- 登録が完了すると、「登録完了」を表示
- 登録が終わったら、 を押す

登録後に必ず行ってください

- すべてのドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
〔この操作をしないと、電話/ファクス親機からドアホンへの呼びかけができません〕
- 電話/ファクス親機に電話機コードを接続する
- 設置場所で電波を確認する
( 76、77ページ )

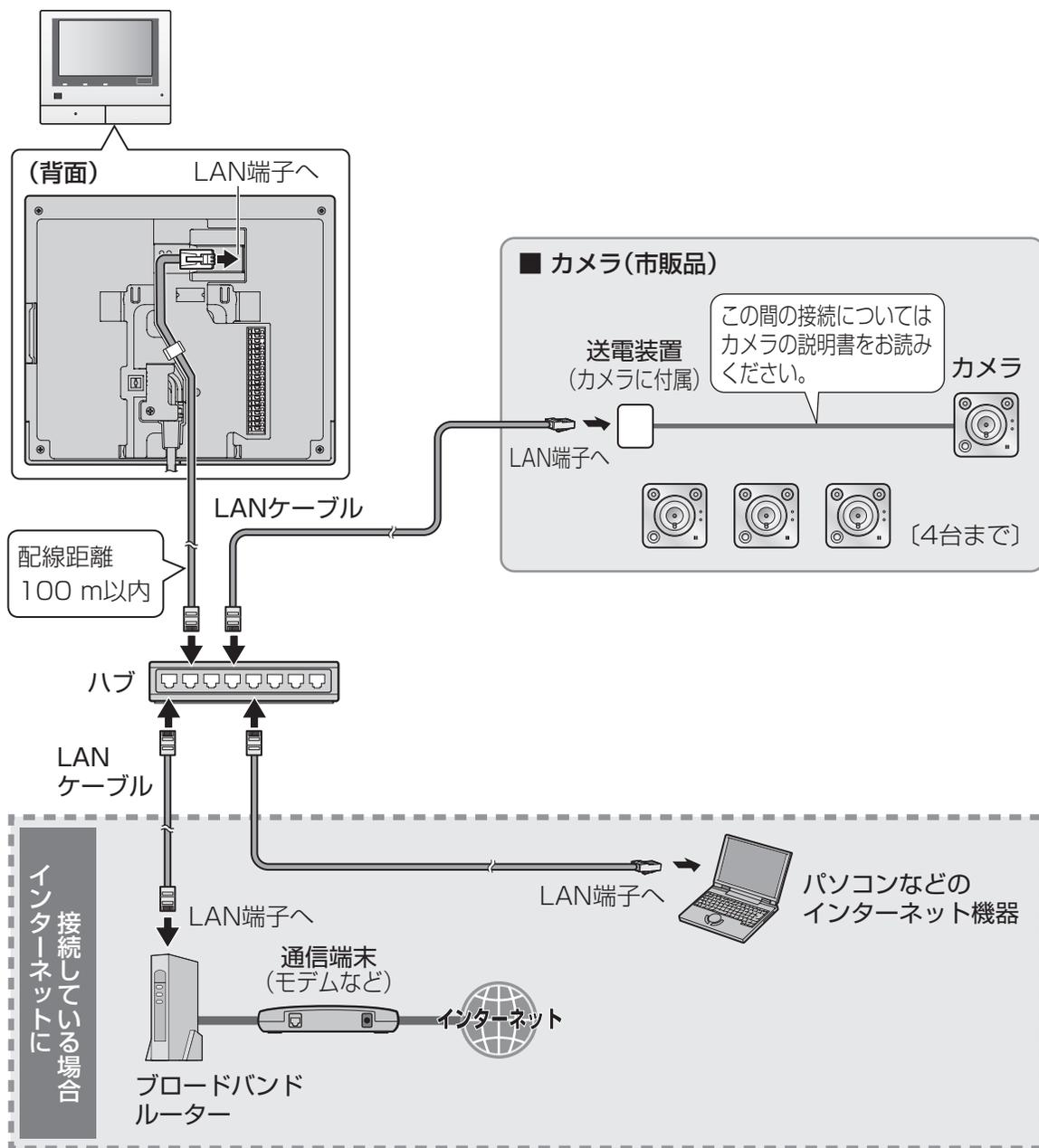
お知らせ

- 電話/ファクス親機に「プロトコルエラー」と表示され、手順2の画面に戻ったとき
→ 手順3からやり直してください。
- ドアホン親機に「登録できません」が表示されたとき ( 119ページ)

カメラとの接続について

ドアホン親機との間は、市販のLANケーブル(ストレートケーブル)やハブで接続します。

- カメラ(市販品)を利用するにはドアホン親機への登録も必要です。あらかじめ、連携するまでの流れをご確認ください。(P.48ページ)
- 下図は接続例です。〔 〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。
- ハブ、ブロードバンドルーター、LANケーブルは、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。



カメラとの接続について
電話/ファクスで来客応答できるようにするには

お知らせ

- 設置済みのドアホン親機に接続する場合は、ドアホン親機を壁掛け金具から取り外す必要があります。(取り外しかた P.工事説明書)
- ドアホン親機に連携させる機器が1台しかないときは、ドアホン親機と連携機器をLANケーブルで直接接続できます。

カメラとの連携について

対応のカメラ(市販品)と連携すると、カメラ側の様子が気になるときに映像を確認(モニター)したり、センサーが反応したときにドアホン親機や子機に呼出音と映像でお知らせします。

- 連携できるカメラは4台まで。接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- カメラの利用に関する詳細は、カメラの説明書をお読みください。

例) センサー反応時



カメラ映像を録画するにはSDカードが必要です

ピポッ



連携するには、LANケーブルによる接続と登録操作が必要です。

連携するまでの流れ

1

接続例を確認し、ドアホン親機と仮接続する

- カメラ側の説明書もお読みください。
- 接続は、カメラの電源を切った状態で行ってください。

📖 47ページ

2

カメラをドアホン親機に登録する

📖 49ページ

3

ドアホン親機にカメラの映像が映るかを確認する
(カメラモニターの操作をする)

📖 51ページ

4

カメラの設置場所で配線や設置を行う

📖 カメラの
説明書

5

カメラの撮影範囲を確認する(録画のテスト)

📖 50ページ

カメラをドアホン親機に登録する

接続が終わったらカメラの電源を入れ、1分以上経過してから下記の操作で登録してください。

- 同時に複数のカメラを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- ご使用になるカメラの説明書とあわせてお読みください。



ドアホン親機の操作

1

トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2

[設定を変更]をタッチする



3

[登録/減設]をタッチする



4

[登録]をタッチする

5

[カメラ]をタッチする

6

登録するカメラ番号をタッチする

続けて、約10分以内にカメラの操作をする



カメラの操作<登録モードにする>

7

カメラを登録モードにするため、
送電装置の登録2ボタンを
約1秒以上押す

- 登録モードになると、送電装置の電源インジケータやカメラの機器インジケータがオレンジ点滅する(約5分間)
※オレンジ点滅するまで、約1分程度かかることもあります

電源

インジケータ

機器

インジケータ



登録2
ボタン

送電装置



カメラ

- 上記インジケータのどちらかでオレンジ点滅し始めたことを確認してから、約5分以内に手順8の操作をしてください



ドアホン親機の操作

8

[次へ]をタッチする

- 登録が完了すると、「登録完了」と表示される

9

終わったら、**終了**を押す

お知らせ

- カメラが登録モードになっている間(約5分間)は、センサー検知がはたらきません。
(詳細は、カメラの説明書で「登録モード/通常モード」の説明をお読みください)

カメラとの連携について (つづき)

センサー検知時の撮影範囲を確認する (録画のテスト)

カメラを設置したあと、下記の手順でカメラのセンサー検知時の撮影範囲を確認してください。

- 登録したカメラごとに確認してください。
- カメラ(センサー検知)を「休止」にしていると録画のテストができません。
 くらしモードで、カメラが「入」になっていることを確認してください。(☎ 53ページ)

1

トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2

[設定を変更]をタッチする



3

[接続機器の設定]をタッチする



4

[カメラ]をタッチする

5

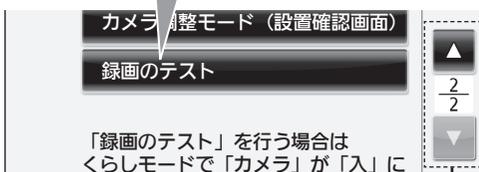
確認したいカメラ番号をタッチする

6

[センサー設定]をタッチする

7

画面右端の ▼ をタッチしたあと、
[録画のテスト]をタッチする



「録画のテスト」を行う場合は
くらしモードで「カメラ」が「入」に

前/次ページへ

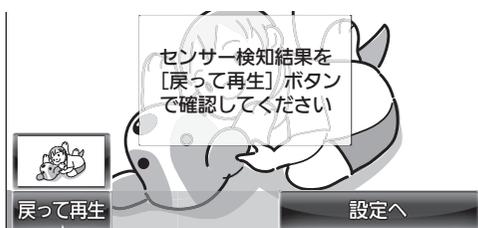
- 現在のカメラ映像が表示される

8

約20分以内に
カメラ側でセンサーを反応させる



- 反応時の映像が一時的に録画され、
[戻って再生]ができるようになる



9

[戻って再生]をタッチして
撮影範囲を確認する



- 「戻って再生」の見かたは(☎ 52ページ)
- 見たい範囲が映っていないとき
 → カメラの設置場所や向きを調整して、
再度、確認してください。

10

終わったら、 [終了] を押す

お知らせ

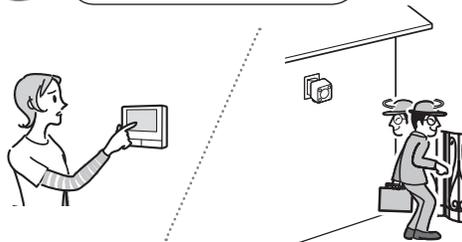
- 録画のテストでは、カメラ映像は約20分で自動的に終了します。確認途中で終了したときは、もう一度最初からやり直してください。

カメラ側の様子を見る

カメラモニター

カメラ側の様子を、映像で確認できます。

- カメラ側の音は聞こえません。
こちらの声もカメラ側には聞こえません。



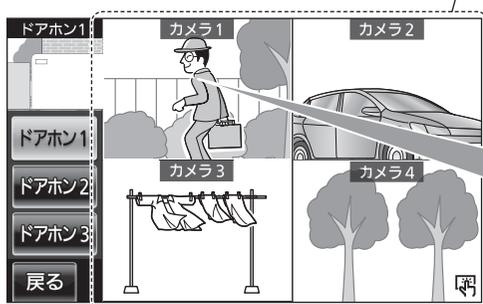
1



トップメニューで
[モニター 様子を見る]をタッチする

2

〈モニター選択画面〉
例：ドアホン3台、カメラ4台



設置したカメラの映像を同時に表示
(カメラが1台のみの場合、この領域全体に
映像を大きく表示)

モニターしたいカメラ映像を
タッチする

3



- モニター映像が表示される

- Ⓐ パン・チルト (🔍 54ページ)
- Ⓑ カメラから「お知らせ音」を鳴らす (🔊 55ページ)
- Ⓒ モニター映像の録画 (📹 56ページ)
- Ⓓ ワイド/全体表示 (🖼️ 54ページ)
- Ⓔ 音や表示の調整 (🔊 55ページ)

4

終わったら、 **終了** を押す

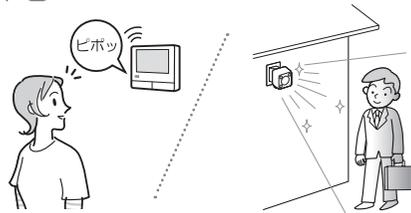
カメラ側の様子を見る(カメラモニター)との連携について

お知らせ

- モニター時間は約90秒です。
ただし、モニター中に何か操作すると、最大3分まで延長されます。
- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。(🔍 59ページ)
- モニター中に別の呼び出しがあったとき(🔍 74ページ)

カメラのセンサーが反応したとき

1 センサーが反応すると
呼出音が鳴り、カメラの映像が映る



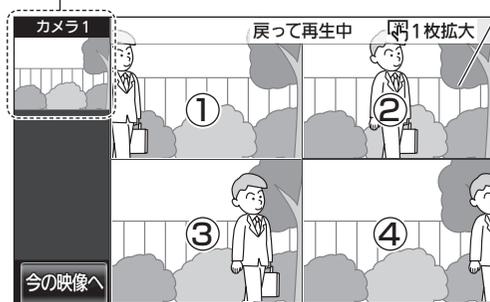
- A パン・チルト (☎ 54ページ)
- B カメラから「お知らせ音」を鳴らす (☎ 55ページ)
- C モニターする (☎ 51ページ)
- D ワイド/全体表示 (☎ 54ページ)
- E 音や表示の調整 (☎ 55ページ)

● 映像は約30秒で終了しますが、
すぐに終了するには → **終了** を押す

着信画面に誰も映っていないとき(戻って再生)

[戻って再生]をタッチする

今の映像



- ドアホン親機に一時的に録画されたセンサー反応時の画像(最大4枚)を表示
 - ① 検知直前の画像
 - ②~④ 検知後、約1秒おきの画像
- 見たい画像にタッチすると拡大表示 (詳細は☎ 25ページ)



お知らせ

- センサー反応時の映像は、挿入したSDカードに自動で録画されます。(☎ 56ページ)
- 一度センサーが反応すると、約60秒間は次の反応を行いません。
(秒数は、カメラの機種や設定によって変わることがあります)
- センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいとき
 - ・カメラの「呼出音量」を「切」にする(☎ 78ページ)
 - ・「カメラ呼出ー斉消音」の設定をする(☎ 82ページ)
 - ・くらしモードを「夜間」に切り替える(☎ 39、40ページ)
- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ」設定や「逆光補正」をしてください。(☎ 59ページ)
- 着信中に別の呼び出しがあったとき(☎ 74ページ)

カメラのセンサー検知を休止する

カメラの設置場所で作業をする場合など、一定時間、センサー検知を休止できます。

- 休止中は、室内への通知(呼出音や映像表示)や自動録画を行いません。
- カメラが複数あるときは、すべてのカメラのセンサー検知が休止になります。
- 「くらしモード」を「外出」に設定していると、センサー検知の休止はできません。

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする



2 今の検知状態「入」
[カメラ]をタッチする



3 カメラのセンサー検知を休止します。
自動録画も行いません。
休止時間を選んでください。

30分 1時間 2時間 4時間 8時間

休止したい時間をタッチする

● 設定が完了すると「ピー」と鳴り、
表示が「休止」に変わる



4 終わったら、[終了]を押す

カメラのセンサーが反応したとき

■ 「入」(休止を解除)にするとき

休止時間を過ぎると自動で解除されますが、時間内に解除したいときは下記の操作をしてください。

- ① 休止中に上記の手順1、2を行い、センサー検知を「入」に戻す
- ② 終わったら、[終了]を押す

カメラ情報を確認する

カメラの休止状態などを「カメラ情報」で確認できます。

- ① 上記の手順2で[カメラ情報]をタッチする
- ② 終わったら、[終了]を押す

(例：カメラ4台を接続しているとき)

くらしモード	カメラ情報			
カメラ	休1	×2	休3	休4
	○：通信可能	×：切断	休：休止中	

カメラ映像の表示範囲を切り替える

カメラの映像表示中は、ワイド/全体表示の切り替えができます。

- カメラ映像をズームすることはできません。

〈ワイド表示〉



全体表示にするには
ここをタッチ

〈全体表示〉



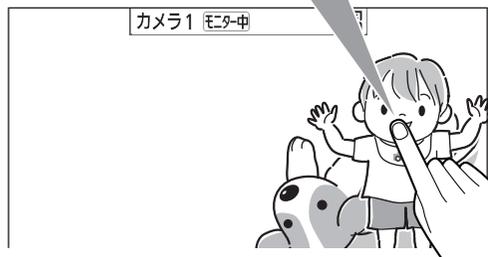
ワイド表示にするには
ここをタッチ

カメラの向きを上下左右に動かす(パン・チルト)

パン・チルト
対応カメラを
ご使用時のみ

映像にタッチして、カメラの向きを変えることができます。

カメラを向きたい位置をタッチする



- この操作でカメラの向きを変えても、画面を終了すると、元の位置に戻ります。
- カメラが戻る位置を変更するには、カメラの向きを変えたあと、その位置をホームポジションとして登録してください。(P.55ページ)

● カメラからお知らせ音を鳴らす ●

必要に応じて、カメラから「お知らせ音」を鳴らすことができます。

【音でお知らせ】をタッチする

(例：モニター中)



お知らせ

- カメラの機能設定の「お知らせ音設定」に従って音が鳴ります。(P.59ページ)
音量や音の種類を変えるには、設定を変更してください。

● ホームポジションを登録する ●

パン・チルト対応のカメラをご使用の場合、センサー反応時やカメラモニター時に最初にカメラを向ける位置をホームポジションとして登録できます。

1 パン・チルト操作(P.54ページ)で登録したい位置を表示させる

2 登録したい位置を表示中に【メニュー】をタッチする

(例：モニター中)



3 【ポジション登録】をタッチする

- 「登録しました」と表示される

● 明るさや呼出音量の調整 ●

明るさは着信中・モニター中、呼出音量は着信中に下記の操作で調整できます。

1 【メニュー】をタッチする

(例：着信中)



画面の明るさ
を変えるとき

暗く または 明るく
タッチして調整する

呼出音量を
変えるとき
(着信中のみ)

小さく または 大きく
タッチして調整する

「切」(鳴らない)にするには
呼出音量 となるまで【小さく】を
切 タッチし続ける

- 「切」の解除
→ 【大きく】をタッチする

カメラ映像は、SDカードに動画で録画できます。(ドアホン映像と合わせて最大3000件)

●録画の再生・画像検索・保護・消去のしかたは、ドアホン録画と同じです。(☎ 34～38ページ)

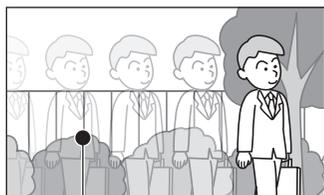
センサー反応時の映像を自動で録画する(カメラ検知自動録画)

センサーが反応すると、反応時のカメラ映像を自動で録画します。

(☎ 83ページ「カメラ検知自動録画」：お買い上げ時の設定「する」)



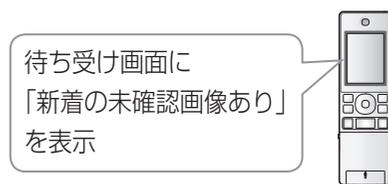
センサーが反応すると…



検知直前から、最大約30秒の動画をSDカードに録画

モニター応答しなかったとき…

録画した画像は未確認画像となり、下記でお知らせします



お知らせ

- 「戻って再生」(☎ 52ページ)をした場合、モニター応答していなくても、録画した画像は確認済み扱いになります。
- カメラが複数あるとき
着信が重なった場合でも、複数のカメラの映像を同時に録画できます。
ただし、映像の更新速度は遅くなります。

モニター映像を手動で録画する

モニター時の映像を、必要に応じて手動で録画する機能です。



モニター映像を表示中に
[録画]をタッチする

- 最大約30秒の動画をSDカードに録画

録画中は 録画● が表示される

使いかたに合わせて、カメラの機能を変更できます。

- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

ご使用の機種によっては一部の機能設定ができません。(カメラ側に機能がないため)
設定できる機能や各機能の詳細などは、カメラの説明書をお読みください。

設定の換えかた (タッチして操作します)

トップメニューの【設定/情報】 → 【設定を変更】 → 【接続機器の設定】 → 【カメラ】

→ 設定するカメラ番号を選ぶ(1~4) → 項目名 → 機能名
(「センサー設定」など) (「動作検知感度」など)

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、 **終了** を押す

機能によっては操作を繰り返す

カメラの機能を変える(機能設定一覧)
カメラ映像の録画について

項目名 センサー設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
センサー選択	<p><input type="checkbox"/> ダブルセンサー、 <input type="checkbox"/> 外部センサー、 <input type="checkbox"/> OFF (センサー反応しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラの人感(熱)センサーや動作検知を使うときは「ダブルセンサー」、カメラのセンサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは「外部センサー」を選ぶ
人感(熱)センサー感度	<p>高感度、 <input type="checkbox"/> 標準、 低感度、 超低感度、 検知しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 反応しにくいときは「高感度」、反応しすぎるときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ
動作検知感度	<p>高感度、 <input type="checkbox"/> 標準、 低感度、 超低感度</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小さな動作も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの【設定/情報】 → 【設定を変更】 → 【接続機器の設定】 → 【カメラ】

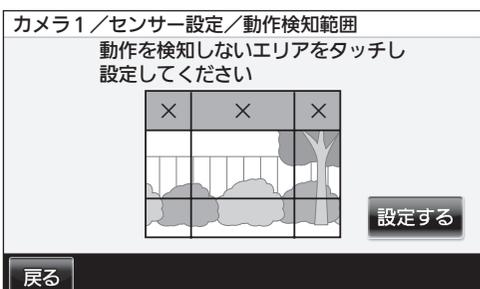
→ 設定するカメラ番号を選ぶ(1~4) → **項目名** → **機能名**
 (「画面設定」など) (「明るさ」など)

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、 **終了** を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 センサー設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
動作検知範囲	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作を検知しない範囲(エリア)を選ぶ(「×」部分は検知しない) <div style="border: 1px solid #000; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>カメラ1 / センサー設定 / 動作検知範囲</p> <p>動作を検知しないエリアをタッチし設定してください</p>  </div> <p>〈設定のしかた〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 検知させたくないエリアをタッチして「×」にする (再度タッチをすると「×」が消える) ② 【設定する】をタッチする <div style="border: 1px dashed #000; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>画面の範囲はイメージで実際の検知範囲とは異なります。設定後にカメラ映像を見ながら確認してください。</p> </div>
カメラ調整モード (設置確認画面)	<p>通常は「OFF」にしておいてください</p> <p>ON (カメラ設置調整用) 、 OFF (通常)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラを設置するときなど、カメラのセンサー検知範囲を確認するときに「ON」を選ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ON」を選ぶと、センサー検知してもドアホン親機や子機への通知(呼出音と映像表示)がされなくなります → カメラの調整が終わったら、必ず「OFF (通常)」に戻してください
録画のテスト	<ul style="list-style-type: none"> ● センサー検知時の撮影範囲を確認する (▶ 50ページ)

項目名 画面設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
明るさ	(映像が暗くなる) -4、-3、-2、-1、 0 (標準)、+1、+2、+3、+4 (映像が明るくなる) ● カメラ映像の明るさを調整する
逆光補正	ON 、 OFF ● 逆光補正をするときは、「ON」を選ぶ
照明 ライト付きのカメラのみ設定できます	自動(暗いあいだずっと点灯) ^{※1} 、検知時のみ(いつでも) ^{※2} 、 検知時のみ(暗いときのみ) ^{※3} 、 検知(いつでも)+モニター(暗いとき) ^{※4} 、 検知(暗いとき)+モニター(暗いとき) ^{※5} 、消灯 ^{※6} ● ライト付きカメラの場合に、ライトを点灯させる条件を選ぶ ※1：カメラの「明るさセンサー」で明るさを検知し、暗くなると自動的に点灯し続ける ※2：センサー検知時に、明るさに関係なく点灯する ※3：センサー検知時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ※4：センサー検知時は明るさに関係なく点灯し、モニター時はカメラ周辺が暗いと点灯する ※5：センサー検知やモニター時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ※6：常時消灯
カラーナイトビュー	利用しない、 自動設定 ● カメラ周辺が暗いときに、自動設定で映像を明るくするか、しないかを選ぶ

カメラの機能を変える(機能設定一覧)

項目名 お知らせ音設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
お知らせ音入切	ボタン押下時と検知時に鳴る、 ボタン押下時だけ鳴る 、 検知時だけ鳴る、お知らせ音は鳴らない ● お知らせ音ボタン(ドアホン親機は[音でお知らせ]ボタン)を押したときや、センサー検知時に、カメラ側でのお知らせ音を鳴らすかどうかを選ぶ
お知らせ音音量	大きめ、 標準 、小さめ ● お知らせ音の音量を選ぶ
お知らせ音種類	ピポピポピポ 、ブルルルブルルル、ポウポウポウポウ、 わんわん、わんわんわんわん ● お知らせ音の種類を選ぶ

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの【設定/情報】 → 【設定を変更】 → 【接続機器の設定】 → 【カメラ】

→ 設定するカメラ番号を選ぶ(1~4) → **項目名** → **機能名**
(「その他の設定」など) (「プライバシーボタン」など)

→ 設定内容を選ぶ → 終わったら、 終了 を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 カメラ情報

機能名	設定内容など
カメラ 詳細情報	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの機器名、型番、モデル名、製造元、MACアドレスを確認できる ● ドアホン親機とカメラの接続に異常があるときは、機器の状況(異常の内容)も表示される
カメラ アドレス	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのIPアドレス、自己診断情報、ステータス情報を確認できる
カメラ 検知履歴	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーの検知履歴(最大27件)を確認できる

項目名 その他の設定

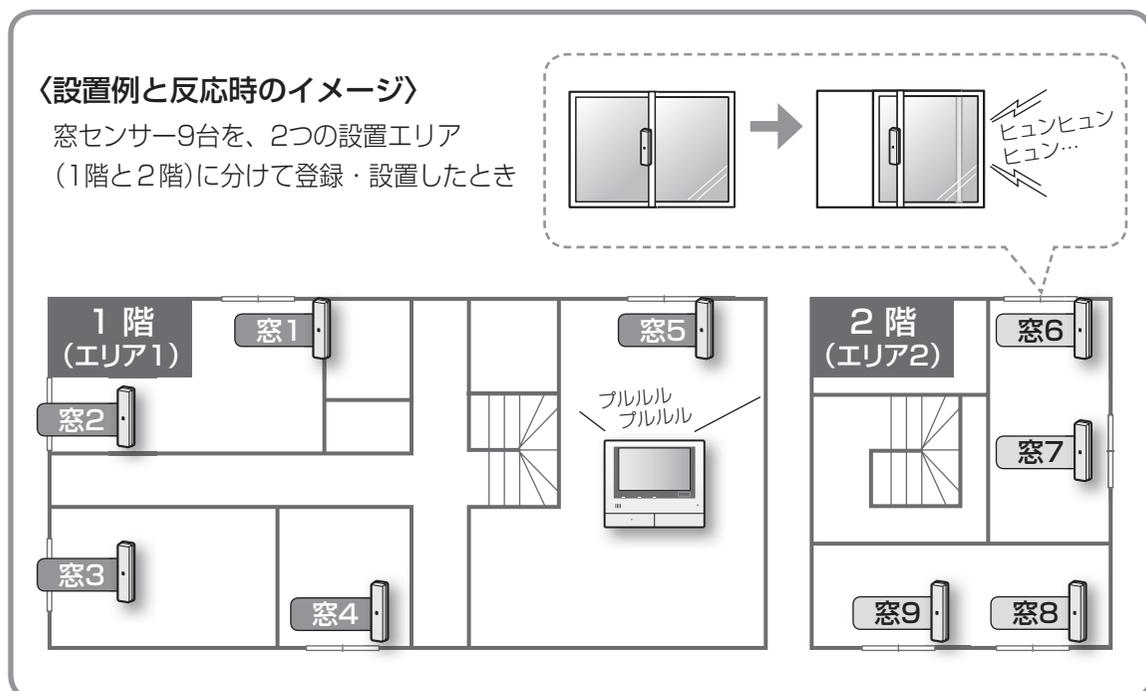
のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など
<p>カメラ 登録モード入</p>	<p>登録モードにする、通常モードにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラをテレビなどのほかの機器に登録するとき、「登録モードにする」を選んで一時的にカメラを登録モードにする (この設定をすると約5分間登録モードになり、その後、通常モードに戻る)
<p>プライバシー ボタン</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効、無効</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのプライバシーボタンを押しても、かくれんズに設定できないようにするときは、「無効」を選ぶ
<p>カメラ再起動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラを再起動させる
<p>設定と登録 の初期化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの設定内容と登録情報を初期化し、お買い上げ時の状態に戻す (ドアホン親機からカメラの登録も解除されます)

窓センサーとの連携について

対応の窓センサー(市販品)と連携すると、窓の開閉状態などを一覧で見ることができます。また、窓が開いてセンサーが反応したときに、ドアホン親機や子機に音や表示でお知らせします。

- 連携できる窓センサーは**20台まで**。(3つの設置エリアに分けて管理できます)
対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 連携するには登録操作が必要です。



連携するまでの流れ

- 1 窓センサーをドアホン親機に登録する 📖 63ページ
- 2 窓センサーの設置場所で、ドアホン親機との電波状態(電波レベル)を確認し、できるだけ電波の強いところに窓センサーを設置する 📖 窓センサーの取扱説明書
- 3 設置場所の窓を開けて、ドアホン親機に通知されるかを確認する 📖 66ページ

窓センサーをドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約5分以内に窓センサーを操作してください。

- 同時に複数の窓センサーを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- 操作の前に、登録する窓センサーの本体カバーと電池カバーを開け、電池を外しておいてください。



ドアホン親機の操作

- 1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする
- 2 [設定を変更]をタッチする
- 3 [登録/減設]をタッチする
- 4 [登録]をタッチする
- 5 画面右端の ▼ をタッチしたあと、
[窓センサー]をタッチする
- 6 登録する窓番号を選んでタッチする

7

[次へ]をタッチしたあと
設置エリアを選んでタッチする

エリア1
エリア2
エリア3

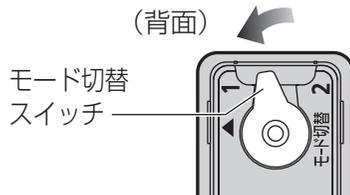
続けて、約5分以内に窓センサーを操作する



登録する窓センサーの操作

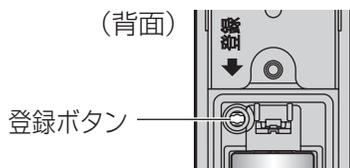
8

- ①モード切替スイッチを
「モード1」にする



- ②電池を入れ、2分以内に登録ボタン
を先端の細いもので3秒以上押し

- 電池を入れても「ピッ」と鳴らないときは(☎ 窓センサーの取扱説明書)
- 「ピッ ピッ ピッ」のあと、「ピー」と約1秒間鳴ったら登録完了



9

終わったら、
ドアホン親機の [終了] を押す



お知らせ

- 窓センサーの取扱説明書も、よくお読みください。
- 窓センサーを設置した場所がわかるように、設置した場所のエリア名を登録したり、設置エリアを変更できます。(☎ 64、87ページ)

窓センサーとの連携について (つづき)

エリアを変更するとき

ドアホン親機に登録するときに選んだ窓センサーのエリアは、設置場所に応じて、下記の手順で変更できます。

1

トップメニューで
[設定/情報] をタッチする



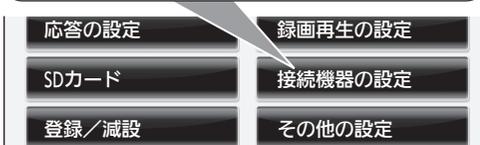
2

[設定を変更] をタッチする



3

[接続機器の設定] をタッチする



4

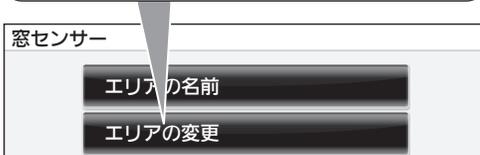
画面右端の ▼ を2回タッチした
あと、[窓センサー] をタッチする



前/次ページへ

5

[エリアの変更] をタッチする



6

エリアを変更したい窓センサー
(窓番号) をタッチする



現在のエリア 窓番号

7

変更先のエリアをタッチする



現在の設定値

●「ピー」と鳴り、設定値が変わる

8

終わったら、[終了] を押す

窓の開閉状態を確認する (センサー情報を見る)

くらしモードの「センサー情報」画面で、現在の窓の開閉状態を確認できます。
また、必要に応じて、窓センサーが反応したときの履歴を確認することもできます。

1 トップメニューで
[くらしモード]をタッチする



2 [センサー情報]をタッチする



● エリアごとの窓の開閉状態がまとめて表示される



3 各エリア内の詳細を見たいときは、
見たいエリアをタッチする



● 指定したエリア内の状態が表示される



4 確認が終わったら、
ドアホン親機の **終了** を押す

窓の開閉状態を確認する(センサー情報を見る)窓センサーとの連携について

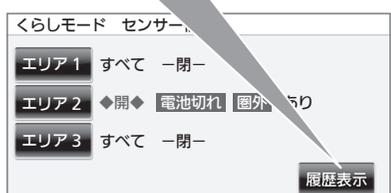
■ 窓の状態表示について

すべて -閉-	すべての窓が閉まっている状態	圏外	電波が届いていない状態 → 窓センサーの電波状態(電波レベル)を確認してください (☎ 窓センサーの取扱説明書)
-閉-	窓が閉まっている状態		
◆開◆	窓が開いている状態	電池切れ	電池の交換が必要な状態 → 電池を交換してください

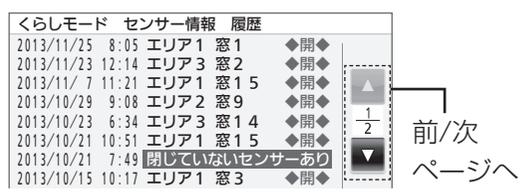
窓センサーの反応履歴を見る

① 上記の手順 1、2 を行う

② [履歴表示]をタッチする



(最新情報を99件まで記憶)



窓が開いたとき（報知レベルと動作について）

窓が開いたとき（窓センサー反応時）の動作は、報知レベルによって異なります。この報知レベルは、くらしモード（在宅/夜間/外出）で切り替えることができます。（☞ 39、40ページ）



報知レベル	窓が開いたときの動作	
	本機	窓センサー
<p>高い</p> <p>くらしモードを 外出モードに 設定したとき※</p>	<p>ブルブル ブルブル</p>  <p>窓が開きました エリア1 窓1</p> <p>お知らせランプ点滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音と表示でお知らせ（約3分） 音量：「大」（固定） ● ドアホン通話中や室内通話中は、通話が切れます。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 音でお知らせ（約30秒） 音量：「大」（固定）
<p>低い</p> <p>くらしモードを 在宅モード または 夜間モードに 設定したとき※</p>	<p>ポンポン ポンポン</p>  <p>窓が開きました エリア1 窓1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音（約3秒）と表示（約10秒）でお知らせ 音量：「小」（「切」にもできます ☞ 78ページ） ● ドアホン通話など、ほかの操作は中断されません。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 音でお知らせ（約3秒） 音量：「小」（固定）
<p>OFF</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● 動作しません。 （センサー反応の履歴は残ります） 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 動作しません。

※在宅/夜間/外出モードでの報知レベルの設定は、変更することもできます。（☞ 42ページ）
上記はお買い上げ時の設定でモードを切り替えたときのものです。

■ 光るチャイムやメロディサインなどを本機に接続しているとき
報知レベルを「高い」にすると、窓センサーが反応したときに本機に連動します。

窓が開いたときの動作(音や表示)をすぐに終了したいとき

報知レベルが「高い」ときは、本機で約3分、窓センサーで約30秒、音が鳴り続けます。
(窓を閉めても音は止まりません)

ドアホン親機や子機のどちらかで下記の操作をすると、本機と窓センサーの両方の動作を終了できます。

〈ドアホン親機〉

[音を止める]をタッチする



〈子機〉

終了 を押す



お知らせ

- お知らせランプの点滅は、センサー反応時の音や表示を手動で終了しても消えません。トップメニューを表示して、お知らせを確認してください。(☞ 76ページ)
- 窓センサーの反応履歴(最新情報を99件まで)をあとで確認することもできます。(☞ 65ページ)
- 子機の動作について詳しくは(☞ 「1.9GワイヤレスモニターP5取扱説明書」)

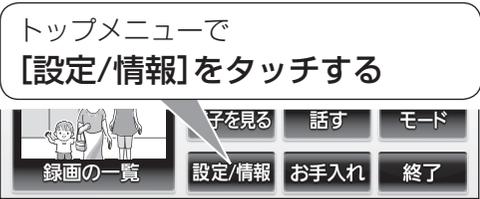
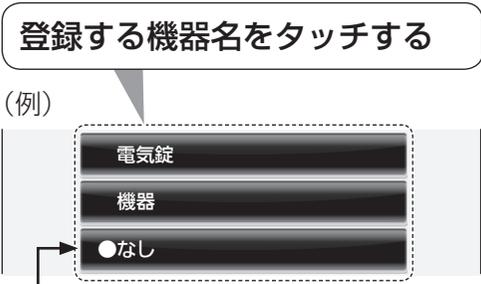
電気錠やエアコンなどと連携して使う

電気錠やエアコン(いずれも市販品)などを本機と接続して下記の設定で連携すると、ドアホン親機や子機で各機器の操作(施錠/解錠やON/OFF)ができます。

- 連携できる電気錠などは**2台まで**。
- 「電気錠」を登録するには、電気錠とその設置工事*¹が必要です。また、「機器」を登録するには、JEM-Aに対応した機器*²(エアコン、シャッターなど)とその接続工事*¹が必要です。
 - ※1 電気錠などの電気工事には電気工事士資格が必要です。接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。
 - ※2 一般社団法人日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

ドアホン親機で電気錠・機器ボタンの設定をする

● お買い上げ時の設定：「なし」(未登録)

- 1 トップメニューで**[設定/情報]**をタッチする

- 2 **[設定を変更]**をタッチする
- 3 **[接続機器の設定]**をタッチする
- 4 画面右端の▼を2回タッチしたあと、**[電気錠・機器ボタン]**をタッチする
- 5 登録先の機器番号([電気錠・機器1]または[電気錠・機器2])をタッチする
- 6 **登録する機器名をタッチする**
 (例)

 現在の設定値
 「電気錠」：電気錠の施錠/解錠
 「機器」：エアコンなどの機器のON/OFF
 ● 「ピー」と鳴り、設定値が変わる
- 7 終わったら、**終了**を押す

設定が終わると、画面の表示が下記のように変わります(例：電気錠2台を登録)

ドアホン親機のトップメニューやドアホン着信画面などで、**[終了]**ボタンが**[電気錠]**などの操作ボタンに変わります。

(例：トップメニュー)



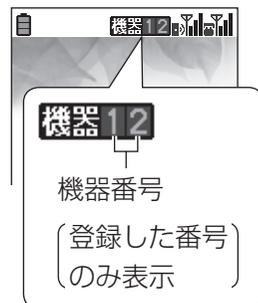
登録した機器名を表示

機器番号
(登録した番号のみ表示)

登録機器名	表示
電気錠のみ	電気錠
機器のみ	機器
電気錠と機器	錠・機器

子機では、下記のマークが表示されます。

(例：待ち受け画面)



ドアホン親機で電気錠・機器を操作する

操作できる場面

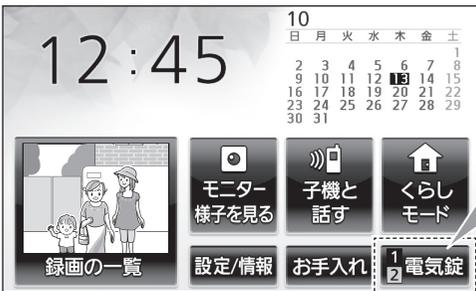
- ドアホン着信中・通話中・モニター中
- カメラ着信中・モニター中
- トップメニュー表示中

● 下記の画面は、電気錠を2台登録してご使用の場合の例です。

(例：ドアホン通話中)



(例：トップメニュー表示中)



電気錠やエアコンなどの機器を操作
(施錠/解錠またはON/OFF)したいときに
ここをタッチする

操作できる機器が2台あるとき

どちらかを選んでタッチする

(例：電気錠が2台あるとき)



(例：エアコンなどの機器が2台あるとき)



操作すると、電気錠・機器の状態表示が下記のように変化します

- 電気錠・機器1を施錠
またはONにしたとき



- 電気錠・機器1を解錠
またはOFFにしたとき



お知らせ

● 子機の操作については(☞「1.9GワイヤレスモニターP5取扱説明書」)

火災警報器やコール機器と連携して使う

警報器(市販品)とコール機器(市販品)のどちらかを接続したときは、ドアホン親機での「外部入力」設定(☞ 86ページ)が必要です。設定すると、警報器の反応やコール機器からの呼び出しの際、ドアホン親機や子機にも下記のようにお知らせします。

接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

例) 火災警報器が反応したとき



- 火災警報器は、ドアホン親機から約1 m以上離して設置してください。
- 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。
- 通知音と画面表示は、警報器の反応やコール機器からの呼び出しが終わるか、最大3分経過すると自動的に終了します。

■ 通知音と画面表示をすぐに終了したいとき(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

〈ドアホン親機〉[音を止める]をタッチする

〈子機〉[終了]を押す

どちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

- コール機器をご使用の場合、通知音と画面表示をすぐに終了したいときは下記の操作をしてください。

→ 〈ドアホン親機〉[終了]をタッチする

〈子機〉[終了]を押す

■ 通知音と画面表示について

接続機器	通知音	画面表示
警報器	ピロピロピロピロ 音量:「大」(固定)	警報器が反応しました
コール機器	ププー・ププー 音量:「大」(「小」「切」にもできます ☞ 78ページ)	コールです

📞 お願い

- 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

📢 お知らせ

- 通話中に警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあると、通話が切れて通知音が鳴ります。
 - ・ 子機で通話中の場合の動作については(☞ 「1.9GワイヤレスモニターP5取扱説明書」)
- 警報器やコール機器からの通知履歴をあとで確認することもできます。(☞ 76ページ ©)

光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う

市販品の光るチャイム、メロディサイン、回転灯のいずれかを本機に接続すると、下記の場合に本機に連動します。接続・配線工事および対応機種については、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。(接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください)

- ① ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき(☎ 24、52ページ)
- ② 火災警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき(☎ 70ページ)
- ③ 窓センサー(報知レベル「高い」)が反応したとき(☎ 66ページ)

①については、下記の設定で、連動させるドアホンやカメラを指定することもできます。

連動させるドアホンやカメラを指定する (A接点出力設定)

お買い上げ時の設定はすべて「ON」(連動させる)です。連動させたくないドアホンやカメラを選んで、設定を「OFF」にしてください。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 [設定を変更]をタッチする

3 [接続機器の設定]をタッチする

4 画面右端の ▼ をタッチしたあと、
[A接点出力]をタッチする

前/次ページへ

5 連動させたくない機器を
タッチする

6 [OFF]をタッチする

現在の設定値

● 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、
[終了]を押す

光るチャイムやメロディサインなどと連携して使う
火災警報器やコール機器と連携して使う

別の呼び出しがあったとき

着信中・通話中・モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあったときは、呼出音が鳴り、下記のような画面表示でお知らせします。

画面表示の例（主画面と副画面など）

(例1) カメラモニター中に別のカメラやドアホンから呼び出しがあったとき（詳しくは 74ページ）

主画面

- モニター中のカメラ

副画面1

- 着信中のドアホン
- タッチすると主画面になる



副画面2

- 着信中の別カメラ（着信順に上から表示）
- タッチすると主画面になる

主画面に対してはたらく

(例2) ドアホン通話中に別のドアホンから呼び出しがあったとき（詳しくは 73ページ）



着信中のドアホンボタン

- タッチすると着信中のドアホンの画面に切り替わる

(例3) 室内通話中にドアホンやカメラから呼び出しがあったとき（詳しくは 75ページ）



着信をお知らせするボタン

- タッチすると着信中の機器の画面に切り替わる

お知らせ

- 画面表示や動作は、場面によって異なります。詳しくは73～75ページをお読みください。
- 副画面は、**ボタン表示** をタッチすることで消すことができます。

ドアホン着信中に別の呼び出し(着信)があったとき

- ドアホン同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先**になり画面が切り替わります。
- ドアホンとカメラの着信が重なった場合、**ドアホンが主画面、カメラが副画面**になります。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面に並べて表示**します。

ドアホンと通話中・モニター中に別の呼び出し(着信)があったとき

- ドアホンからの着信の場合、着信中の**ドアホン名をタッチボタン**で表示します。
- カメラからの着信の場合、**着信中のカメラを副画面**で表示します。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面に並べて表示**します。

別のドアホンからの着信の場合

あとから着信したドアホンの画面に切り替わる
(元のドアホン着信は終了する)



別のドアホンからの着信の場合

着信中のドアホン名をタッチボタンで表示する



ドアホンボタンをタッチすると、
着信中のドアホンの画面に切り替わる
(元のドアホン通話やモニターは終了する)

カメラからの着信の場合

着信中のカメラを副画面で表示する



副画面をタッチすると、主画面と副画面が
入れ替わる



カメラからの着信の場合

着信中のカメラを副画面で表示する



- **ドアホン通話中の場合：**
副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる(通話は継続する)
- **ドアホンモニター中の場合：**
副画面をタッチすると、着信中のカメラの画面に切り替わる(モニターは終了する)

**カメラ着信中に
別の呼び出し(着信)があったとき**

- カメラとドアホンの着信が重なった場合、**カメラが副画面、ドアホンが主画面**になります。
- カメラ同士の着信が重なった場合、**あとの着信が優先(主画面)**になり、元のカメラ着信は副画面になります。

 **ドアホンからの着信の場合**

着信中のドアホンを主画面、元のカメラ着信を副画面で表示する



副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる



**カメラモニター中に
別の呼び出し(着信)があったとき**

- 着信中の**ドアホンやカメラを、副画面で表示**します。
- カメラの着信が複数重なった場合、**着信した順に副画面に並べて表示**します。

 **ドアホンからの着信の場合**

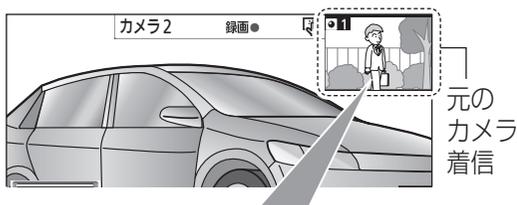
着信中のドアホンを副画面で表示する



副画面をタッチすると、着信中のドアホンの画面に切り替わる
(元のカメラモニターは終了する)

 **別のカメラからの着信の場合**

あとから着信したカメラを主画面、元のカメラ着信を副画面で表示する



副画面をタッチすると、主画面と副画面が入れ替わる

 **別のカメラからの着信の場合**

着信中のカメラを副画面で表示する



副画面をタッチすると、着信中のカメラの画面に切り替わる
(元のカメラモニターは終了する)

ドアホン通話転送中に 別の呼び出し(着信)があったとき

- 着信中であることをタッチボタンで表示します。

着信をお知らせするボタンを表示する



[ほかの着信あり]をタッチすると、通話転送が終了してドアホン通話画面に戻り、着信中の機器をタッチボタンや副画面で表示する

■別のドアホンからの着信の場合

着信中のドアホン



■カメラからの着信の場合



- 上記画面での操作方法は、73ページの「ドアホンと通話中・モニター中に別の呼び出し(着信)があったとき」を参照ください。

室内通話中に 別の呼び出し(着信)があったとき

- 着信中であることをタッチボタンで表示します。

着信をお知らせするボタンを表示する



[ほかの着信あり]をタッチすると、着信中の機器の画面に切り替わる(室内通話は終了する)

1

トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



この表示があるときは、
[確認する]をタッチするだけで
右記 ①の画面になります。

2

[情報を見る]をタッチする



3

見たい情報を選んでタッチする



4

確認が終わったら、**終了**を押す

お知らせ

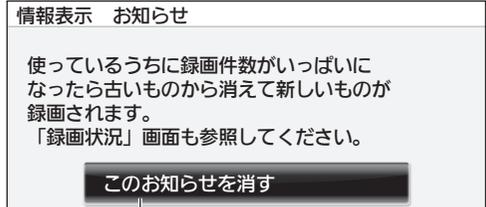
- 手順3で表示されるボタンやその詳細情報は、ご利用のシステムによって異なります。

① お知らせ画面

確認してほしいお知らせがあるときに
その内容を表示します。

- 案内に従って操作してください。

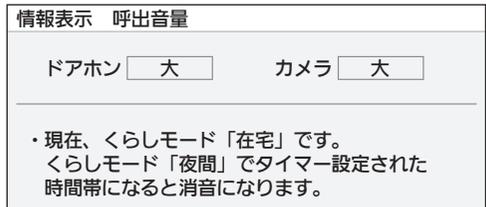
(例)



ここをタッチすると、このお知らせが
消えます。

② 呼出音量画面

ドアホンやカメラ(接続時)の、現在の
呼出音量を表示します。



- ・現在、暮らしモード「在宅」です。
暮らしモード「夜間」でタイマー設定された
時間帯になると消音になります。

③ 外部入力の履歴画面

火災警報器またはコール機器との連携時、
各機器からの通知履歴を表示します。
(最新情報を45件まで)



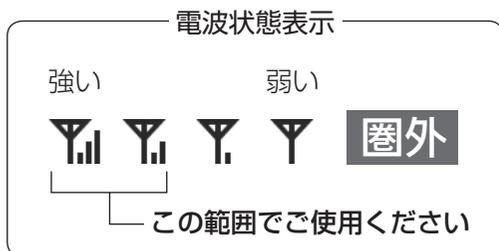
前/次ページへ

④ 接続状態画面

情報表示 接続状態

- ① ワイヤレスアダプター 
- ② カメラ ○1 ×2 ○3 ×4

- ① ワイヤレスアダプター機能(☞ 46ページ)で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を表示する



- 「圏外」のときは電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません

このとき画面は下記ようになります



詳しくは(☞ 123ページ)

- ② カメラを接続してご使用のとき、各カメラとの通信状態を表示する

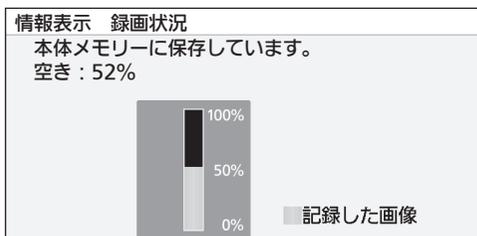
- 1- カメラ番号
通信状態(☞ 下記)

- : 通信できる状態
- × : 通信できない状態
(接続を確かめてください)
- 休** : カメラのセンサー検知が休止中の状態

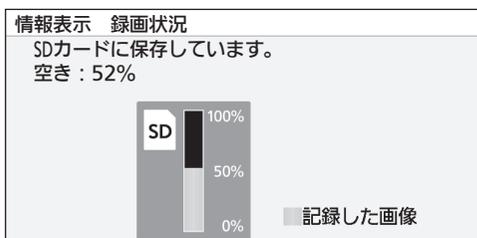
⑤ 録画状況画面

現在の記録先と、その録画状況(空き容量の目安など)を表示します。

(本体メモリーの例)



(SDカードの例)



- 録画がいっぱいになったとき
(☞ 32ページ)

呼出音量を変える

ドアホン親機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

- ドアホンからの呼び出し : 3段階+「切」
- コール機器からの呼び出し : 2段階+「切」
- カメラからの呼び出し : 3段階+「切」
- 窓センサー(報知レベル「低い」)からの呼び出し : 小+「切」
- 室内呼び出し(ドアホン室内呼) : 3段階

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2 [設定を変更]をタッチする



3 [呼出音の設定]をタッチする



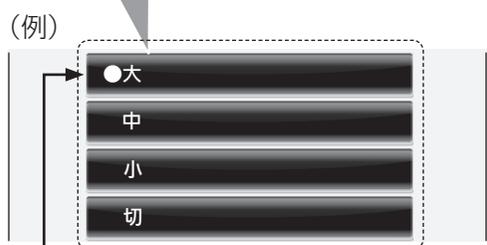
4 [呼出音量]をタッチする



5 音量を変えたい項目をタッチする



6 音量を選んでタッチする



現在の設定値

- 選んだ音量で呼出音が鳴る

7 メッセージを確認して [はい]をタッチする

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

8 終わったら、[終了]を押す

お知らせ

- ドアホン、カメラ、室内呼び出しの呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に変更することもできます。

- ドアホン着信中の操作(☞ 26ページ)
- カメラ着信中の操作(☞ 55ページ)
- 室内呼び出し着信中の操作

① [呼出音量] をタッチする

② 小さく または 大きく をタッチして調整する

呼出音の種類を変える

ドアホンやカメラからの呼出音の種類を変更できます。ドアホンの場合は鳴りかたの設定もできます。

- 室内呼び出し(ドアホン室内呼)の呼出音は変わりません。

1 78ページの手順1～3を行う

2 [呼出音]をタッチする

3 呼出音を変えたい機器をタッチする



前/次ページへ

4 音を選んでタッチする

(例)



現在の設定値

- 選んだ音が鳴る

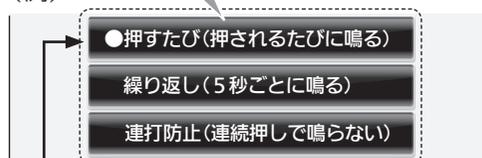
5 メッセージを確認して [はい]をタッチする

- ドアホンの場合
次のメッセージが表示される(手順6へ)
- カメラの場合
「ピー」と鳴り、設定値が変わる(手順7へ)

6 ドアホンの鳴りかたを設定する

[了解]をタッチしたあと、 鳴りかたを選んでタッチする

(例)



現在の設定値

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

7 終わったら、**終了**を押す

呼出音の種類を変える
呼出音量を変える

呼出音の種類

- 音の種類 (お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、ドアホン3「音3」、カメラ1～4「音A」)

ドアホンからの呼出音			
音1	ピーンポーン	音4	プルルルルルル...
音2	ピンポーンピンポーン	音5	ポンピンパンポン
音3	ポーンポーンポーン	音6	ピンパンピーピンパンピンポーン

カメラからの呼出音	
音A	ピポッ
音B	ポポポポポポ...
音C	ポーンポーン
音D	ピーンポーン

- ドアホンの鳴りかたの種類 (お買い上げ時の設定：ドアホン1～3「押すたび」)

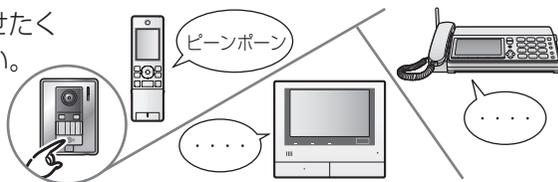
押すたび	ドアホンの呼出ボタンが押されるたびに鳴る
繰り返し*	ドアホンの呼出ボタンが押されると、約5秒間隔で繰り返し鳴る(着信終了まで)
連打防止	ドアホンの呼出ボタンが連打されても、連続して鳴らない(いたずら防止)

* ドアホン側で鳴る音や、他の機器との通話中やモニター中に鳴る音は、繰り返しません。

着信させるドアホンやカメラを指定する 鳴り分け

お買い上げ時、ドアホン親機や子機は、すべてのドアホンやカメラから着信する設定になっています。着信させたくない機器は、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

- 電話/ファクスと連携しているときは、電話/ファクスに対してもドアホンの鳴り分け設定ができます。



1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

2 [設定を変更]をタッチする

3 [応答の設定]をタッチする

4 [鳴り分け]をタッチする

5 鳴り分けを設定する室内機器を
タッチする



電話/ファクスの場合はここをタッチする

6 [親機]や[拡張機器・ワイヤレスアダプター]
を選んだとき

手順7へ

[子機]を選んだとき

設定する子機をタッチする

(例: 子機を6台登録している場合)



7 着信させたくない機器をタッチする

(例)



前/次ページへ

8 [鳴らない]をタッチする



現在の設定値

- 「ピー」と鳴り、設定値が変わる

9 終わったら、 終了 を押す

お知らせ

- 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
 - ・ ドアホンとの通話中(モニター中)またはカメラモニター中
 - ・ 室内呼び出し中、室内通話中

機能設定一覧

使いかたに合わせて、ドアホンの機能を変更できます。

- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの**[設定/情報]** → **[設定を変更]** → **項目名**(「最初の設定」など)

→ **機能名**(「着信画面設定」など) → **設定内容を選ぶ** → 終わったら、**[終了]**を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 最初の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
日時設定	● 現在の日付・時刻を設定する	21
ズーム位置 設定	● 「着信画面設定」(下記)を「ズーム」にしたときや、子機でドアホン映像を「ズーム」したとき、画面にどの位置をズームで映すかを設定する (ドアホン1～3で個別に設定できます)	23
着信画面設定	ドアホン1～3：ズーム、 <input type="checkbox"/> ワイド 、全体 ● ドアホンから呼び出されたとき(着信画面)の映像表示のしかたを選ぶ	22

機能設定一覧
着信させるドアホンやカメラを指定する(鳴り分け)

項目名 呼出音の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
呼出音量	ドアホン： <input type="checkbox"/> 大 、中、小、切 カメラ： <input type="checkbox"/> 大 、中、小、切 室内呼： <input type="checkbox"/> 大 、中、小 外部入力(コール機器)： <input type="checkbox"/> 大 、小、切 窓センサー(報知レベル：低い)： <input type="checkbox"/> 小 、切 ● ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ	78

機能設定一覧 (つづき)

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの**【設定/情報】** → **【設定を変更】** → **項目名**(「応答の設定」など)

→ **機能名**(「音声応答」など) → **設定内容を選ぶ** → 終わったら、**【終了】** を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 呼出音の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
呼出音	● ドアホンやカメラからの呼出音の種類を選ぶ (ドアホン1~3、カメラ1~4で個別に設定できます)	79
カメラ呼出 一斉消音	<p>する、<input type="checkbox"/> しない</p> <p>● カメラの呼出音を、ドアホン親機とすべての子機で鳴らしたくないときは「する」を選ぶ</p>	82 上部

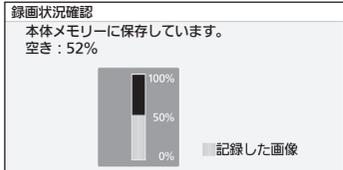
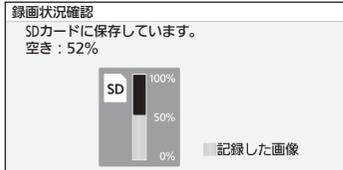
項目名 応答の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
音声応答	<p>する、<input type="checkbox"/> しない</p> <p>● ドアホンからの呼び出しや室内呼び出しに、<input type="checkbox"/> 通話 を押さずに音声で応答できるようにする(☎ 24ページ)には「する」を選ぶ</p> <p>・音声応答設定後も、<input type="checkbox"/> 通話 を押して応答できます</p>	82 上部
鳴り分け	<p><input type="checkbox"/> 鳴る、鳴らない</p> <p>● 着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ (ドアホン親機や子機など、鳴り分けする室内機器を選んで設定します)</p>	80
ボイスチェンジ	<p><input type="checkbox"/> 通常、低め</p> <p>● ボイスチェンジしたときの声をさらに低くするには「低め」を選ぶ</p>	82 上部

項目名 録画再生の設定

□ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
ドアホン 録画開始時間	<p>□ 標準 (約2秒)、 遅い (約3秒)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ(ドアホン1～3の個別設定はできません) 	
ドアホン 着信自動録画	<p>ドアホン1～3: □ する、 しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン着信時の自動録画(☞ 32ページ)をやめるときは、「しない」を選ぶ 	
ドアホン 通話自動記録	<p>ドアホン1～3: する、 □ しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン通話を自動的に録画・録音したいとき(☞ 33ページ)は、「する」を選ぶ 	
カメラ 検知自動録画	<p>カメラ1～4: □ する、 しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのセンサー検知時の自動録画(☞ 56ページ)をやめるときは、「しない」を選ぶ 	82 上部
録画状況確認	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在の記録先と、その録画状況(空き容量の目安など)を表示する <p>(本体メモリの例)</p>  <p>(SDカードの例)</p> 	
画像 全消去	<p>すべての画像を消去、保護画像を残して消去</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本体メモリーまたはSDカード内の画像を、一斉に消去するときの方法を選ぶ 	

機能設定一覧 (つづき)

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの【設定/情報】 → 【設定を変更】 → 項目名(「接続機器の設定」など)

→ 機能名(「ドアホン接続」など) → 設定内容を選ぶ → 終わったら、**終了** を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 SDカード

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
フォーマット	● 他の機器で使っていたSDカードを本機で使える状態にする	97
本体から SDカードへの コピー	● 本体メモリーの録画データをSDカードにコピーする	98

項目名 接続機器の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
カメラ	● カメラに関する各種設定を行う	57～ 61
ドアホン接続	<p>ドアホン1： <input type="checkbox"/>あり、 <input type="checkbox"/>自動判定、 なし ドアホン2： あり、 <input type="checkbox"/>自動判定、 なし ドアホン3： あり、 <input type="checkbox"/>自動判定、 なし</p> <p>● 使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ</p>	84 上部

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
<p>ドアホンの 名前</p>	<p>— ドアホン番号(1~3) ドアホン1~3: ドアホン○、玄関、門、勝手口</p> <p>● 設置場所に応じて、ドアホン1~3の名前を選ぶ</p> <p>設定した名前は、次のときに表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドアホン親機や子機で、 モニター先の機器を選ぶとき • ドアホン親機で、 ドアホンの着信中/通話中/通話転送中/モニター中/録画再生中 	
<p>子機の名前</p>	<p>子機1~6: 子機、子供部屋、書斎、寝室、洋室、 和室、リビング、キッチン</p> <p>● 設置場所に応じて、子機1~6の名前を選ぶ</p> <p>設定した名前は、次のときに表示されます</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドアホン親機や子機で、 室内呼び出しやドアホン通話転送の相手先を選ぶとき • ドアホン親機で、 子機の着信中/通話中 	<p>84 上部</p>
<p>ドアホン照明 自動点灯</p>	<p>ドアホン1~3: (来客時) する、しない (モニター時) する、しない</p> <p>● 来客時またはモニター時にドアホン側が暗い場合、自動で ドアホンの照明(LEDライト)を点灯させるかどうかを選ぶ</p>	

機能設定一覧 (つづき)

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 項目名(「接続機器の設定」など)

→ 機能名(「A接点出力」など) → 設定内容を選ぶ → 終わったら、**終了** を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 接続機器の設定

なし のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
外部入力	<p>警報器、コール機器、なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機の外部入力端子に接続する機器を選ぶ 	86 上部
A接点出力	<p>ドアホン1~3、カメラ1~4: ON、OFF</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器(光るチャイムなど)をドアホンやカメラの呼び出しに連動させたくないときは、「OFF」を選ぶ 	71
拡張機器	<p>操作しないでください</p>	—
電気錠・ 機器ボタン	<p>電気錠・機器1~2: 電気錠、機器、なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気錠以外のJEM-A対応機器(エアコンなど)を接続して使うときは「機器」を選ぶ 	68

項目名 接続機器の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名		設定内容など	設定方法 (ページ)
窓センサー	エリアの 名前	<p>— エリア番号(1~3)</p> <p>エリア1~3: エリア○、居間、洋室1、洋室2、 洋室3、和室1、和室2、和室3、 寝室、キッチン、廊下、階段、 1階、2階、倉庫、事務所</p> <p>● 設置場所に応じて、窓センサーのエリアの名前を選ぶ</p>	86 上部
	エリアの 変更	● 窓センサーのエリアを変更する	64

項目名 登録/減設

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
登録	<p>● 各機器の登録(増設)/減設をする</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子機 • カメラ • 中継アンテナ • ワイヤレスアダプター機能に対応した電話/ファクス • 窓センサー 	(登録/減設)
減設		90/96 49/96 94/96 46/95 63/96

機能設定一覧 (つづき)

設定の変えかた (タッチして操作します)

トップメニューの[設定/情報] → [設定を変更] → 項目名(「その他の設定」など)

→ 機能名(「タッチ確認音」など) → 設定内容を選ぶ → 終わったら、**終了**を押す

機能によっては操作を繰り返す

項目名 その他の設定

のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
お知らせ ランプ 点滅	<p><input type="checkbox"/>する、 <input type="checkbox"/>しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新しいお知らせや新しく録画した未確認画像があるときに、お知らせランプを点滅させるかどうかを選ぶ 	88 上部
タッチ確認音	<p><input type="checkbox"/>ON(出す)、 <input type="checkbox"/>OFF(出さない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチしたときに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ 	
ネットワーク 情報	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を確認できる 	
設定の初期化	<p>設定の初期化+本体メモリー画像消去、設定の初期化のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機をお買い上げ時の状態に戻すとき、どちらかを選ぶ(譲渡・廃棄・返却するときは、「設定の初期化+本体メモリー画像消去」を選んでください) <p>下記の項目は初期化されません</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「SDカード」に関する設定やお知らせ ・「カメラ」に関する設定 ・ドアホン親機に登録した、子機、カメラ、中継アンテナ、ワイヤレスアダプター機能、窓センサーの登録情報 	

項目名 **その他の設定**

 のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容など	設定方法 (ページ)
PCモード起動 (固定IP設定用)	<p style="text-align: center;">通常は使わないでください (パソコンで本機のIPアドレスを変更するためのモード)</p> <p>詳しい内容と設定は、当社ホームページを参照してください。</p>	
展示モード (販売店専用)	<p style="text-align: center;">通常は使わないでください (店頭販売時の展示用などに使うモード)</p> <p>ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、 商品説明(専用のSDカードが必要)、しない</p>	88 上部

別売の子機(☎ 104ページ)を6台まで増やせます。

- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
 - 電話機能を使うには電話/ファクス親機に
- それぞれ登録が必要です*
*電話/ファクス親機への登録(☎ 44ページ)

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。



ドアホン親機の操作

1

トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2

[設定を変更]をタッチする



3

[登録/減設]をタッチする



4

[登録]をタッチする



5

[子機]をタッチする



6

増設する子機の名前をタッチする



- 子機の名前は、あとで変更できる(☎ 85ページ「子機の名前」)

7

増設する子機番号をタッチする



続けて、約2分以内に子機を操作する

ドアホン親機に登録する (つづき)



増設する子機の手順

8

子機の画面に「増設してください」が表示されているとき

F2 (増設) を押す

子機増設
ドアホン
電話/ファクス

既に電話/ファクス親機に登録済みのとき

① (決定) (メニュー) を押し、 で [設定] メニューを開く

電話	設定
	1/2
電話子機の名前	
呼出音	
キー確認音	

② で [子機増設] を選び、
(決定) を押す

9

で [ドアホン] を選び、
(決定) を押す

10

(決定) (登録) を押す

登録完了

11

終わったら、
ドアホン親機の (終了) を押す

子機を増やす(増設)

子機や窓センサーがドアホン親機から離れていたり、壁などの障害物(☞ 8、9ページ)があって、下記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ(チュウアンテナ2: 02440587)を設置すると改善できることがあります。

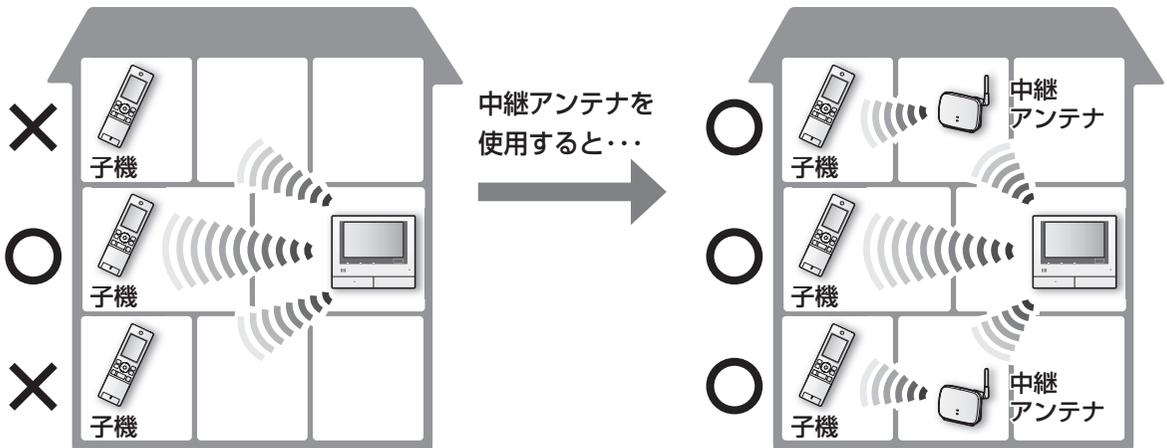
- 子機での通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- 「圏外」で使えないとき

- 設置は**2台まで**。1台につき、複数の子機や窓センサーへ電波を中継できます。(☞ 下記「設置例」)
- 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。ドアホン親機に登録(☞ 94ページ)したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

〈電波のイメージと中継アンテナの設置例〉

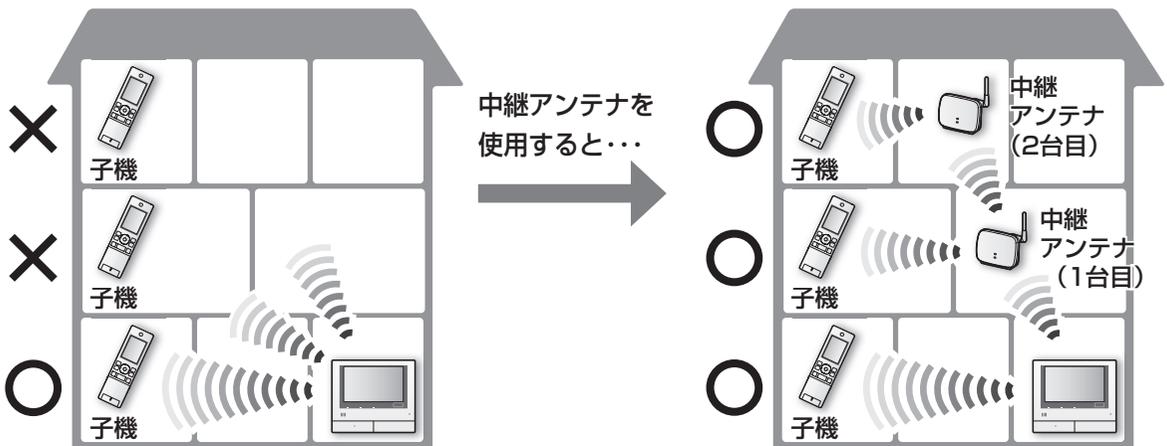
■ 1台ずつ単独で使う(単独接続)

ドアホン親機の電波を別方向に伸ばします。



■ 2台を連結して使う(連結接続)

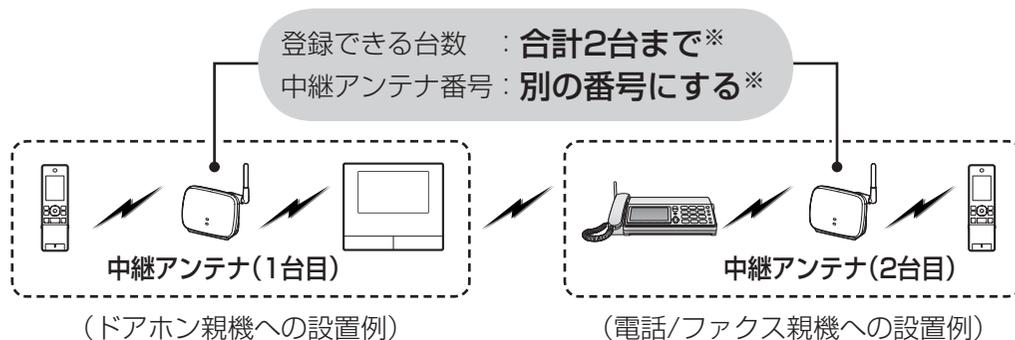
2台の中継アンテナを連結接続して、ドアホン親機の電波をより遠くまで伸ばします。



■ 連携した電話/ファクス側でも、中継アンテナを使うとき

子機を電話/ファクス親機に登録したり、ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で接続(☎ 46ページ)すると、親機同士を電波で接続します。

この場合、下記の設置例のように中継アンテナの登録が制限されます。



※3台以上登録しているときや、同じ番号になっているときは、ドアホン親機の画面表示でお知らせします。(☎ 123ページ)

- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 1台の子機をドアホン/電話両方で使う場合、両方の親機から電波が届きにくい場所に子機を設置すると、中継アンテナが2台必要です。(ドアホン親機と電話/ファクス親機それぞれに登録が必要なため)
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。



ドアホン親機の操作

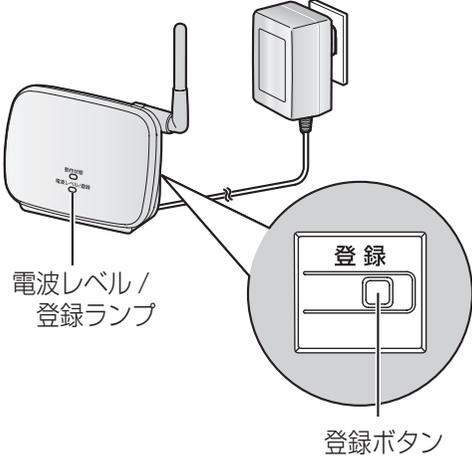
- 1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする

- 2 [設定を変更]をタッチする
- 3 [登録/減設]をタッチする
- 4 [登録]をタッチする
- 5 [中継アンテナ]をタッチする
- 6 増設する中継アンテナ番号を
タッチする※


※ 1台目を増設する場合は「中継アンテナ1」、
2台目を増設する場合は「中継アンテナ2」を
選んでください。
- 7 1台目を増設する場合
手順8へ
2台目を増設する場合
使いかた(92ページ)に応じ
た接続方法をタッチする




増設する中継アンテナの操作

- 8 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す
 - 電波レベル/登録ランプが緑点滅する
 - 登録が完了すると、ランプが点灯に
変わる

(電波状態によっては、緑点灯に
ならない場合もあります。
(別売の中継アンテナの
取扱説明書)
- 9 終わったら、
ドアホン親機の **終了** を押す

お知らせ

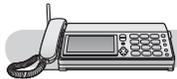
- 設置のしかたなど、詳しくは別売の中継アンテナの取扱説明書をお読みください。
- 離れなど距離が遠い場合には、中継アンテナを使用しても、通話の途切れや映像の乱れを改善できないことがあります。

使わなくなった機器を減設する

電話/ファクスの減設 (ワイヤレスアダプター機能解除)

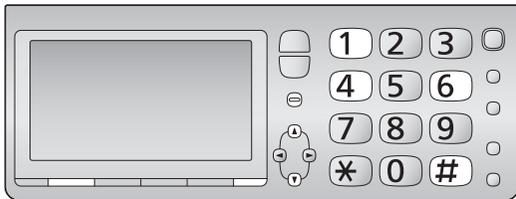
電話/ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

- 電話/ファクス親機の操作はP-722PDの例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。



電話/ファクス親機の操作

(P-722PD)



- 機能/決定 を押し、
1 6 4 を押す

ワイヤレスアダプター設定
増設
減設

- ▲ ▼ で「減設」を選ぶ

- はい F1 を押す

ドアホンを
減設しました

- ストップ を押す



ドアホン親機の操作

- トップメニューで
[設定/情報] をタッチする



- [設定を変更] をタッチする



- [登録/減設] をタッチする



- [減設] をタッチする



- [ワイヤレスアダプター機能] を
タッチする



- メッセージを確認して [はい] をタッチする

- 終わったら、 [終了] を押す

使わなくなった機器を減設する
(中継アンテナを使用する(増設))

使わなくなった機器を減設する（つづき）

子機・カメラ・中継アンテナ・窓センサーの減設

ドアホン親機で下記の操作をしてください。

1 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



2 [設定を変更]をタッチする



3 [登録/減設]をタッチする



4 [減設]をタッチする



5 減設する機器の種類をタッチする



前/次ページへ

6 表示された一覧から、
減設する機器をタッチする
(例：子機減設の場合)



● 中継アンテナの減設について
2台を連結接続していたときは、
遠い方からしか減設できません

7 メッセージを確認して [はい]をタッチする

8 終わったら、 [終了] を押す

ドアホン/電話両用で使っていた子機の減設について

- 電話の子機としての利用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。
 - ・減設のしかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
- ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。
(例) ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき
 - ➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更
(☞「1.9GワイヤレスモニターP5取扱説明書」)

「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が「圏外」となって使えないことがあります。



SDカードを操作する

フォーマットする

パソコンなどの他の機器でフォーマットされたSDカードは、本機で使用できない場合があります。必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。

フォーマットすると、SDカードに記録されているデータはすべて消去され、元に戻すことができません。大切なデータは事前にパソコンなどに保存してください。

1 フォーマットしたいSDカードを入れる (☞ 20ページ)

2 トップメニューで
[設定/情報]をタッチする



3 [設定を変更]をタッチする



4 [SDカード]をタッチする



5 [フォーマット]をタッチする



6 フォーマットするとデータがすべて消去されます。よろしいですか？

はい いいえ

[はい]をタッチする

SDカードを取り出さないでください。カードをフォーマットしています。時間がかかる場合があります。

- フォーマット中はSDカードランプが点滅
- 完了すると、「フォーマットしました」を表示

7 終わったら、[終了]を押す

SDカードを操作する
使わなくなった機器を減設する

お願い

- SDランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(☞ 15ページ)を押したりしないでください。(データが破壊されることがあります)



SDカードを操作する(つづき)

本体メモリの録画データをSDカードにコピーする

ドアホン親機の本体メモリに記録した録画データ(最大50件)を一度にコピーできます。

- コピーには、2 GB以下のSDカードも使用できます。(16 MB以上の空き容量が必要です)
- コピーしたデータは、SDカードの「PRIVATE」フォルダー下にある「BACKUP」フォルダーに保存されます。(☞ 100ページ)同じSDカードに再度コピーを行う場合、すでに「BACKUP」フォルダーにある録画データはすべて消去されます。(上書きコピー)

1 コピー用のSDカードを入れる (☞ 20ページ)

2 トップメニューで「設定/情報」をタッチする



3 「設定を変更」をタッチする



4 「SDカード」をタッチする



5 「[本体からSDカードへのコピー]」をタッチする



6 本体メモリの画像をSDカードへコピーしますか？
すでにコピー先にあるデータはすべて消去されます。

はい いいえ

「はい」をタッチする

本体メモリの画像をSDカードへコピーしています。

- コピー中はSDカードランプが点滅
- コピーが終わると、「SDカードへのコピーが完了しました」を表示

7 終わったら、「終了」を押す

- SDカードを取り出すときは(☞ 20ページ)

お願い

- SDランプ点滅中は、SDカードや電源プラグを抜いたり、リセットスイッチ(☞ 15ページ)を押したりしないでください。(データが破壊されることがあります)



パソコンで再生する

パソコンのSDカードスロットやパソコンに接続されたSDカードリーダーにSDカードを入れて、SDカードに記録されている画像(静止画、動画)をパソコンで再生できます。

- 静止画(JPEG 形式)は、JPEG 形式に対応した画像閲覧ソフトで再生できます。
- 動画(Motion JPEG 形式)は、QuickTime Player で再生できます。

(Windows® 7、Windows® 8 の場合は、Windows Media® Player でも再生できます)

対応OS※	Windows® XP
	Windows Vista®
	Windows® 7
	Windows® 8
	Mac OS® X

※ 再生に使用するソフトの対応OSによっては、正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

再生操作のしかたは、パソコンの説明書をお読みください。

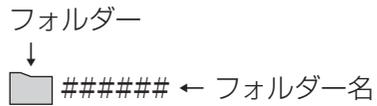
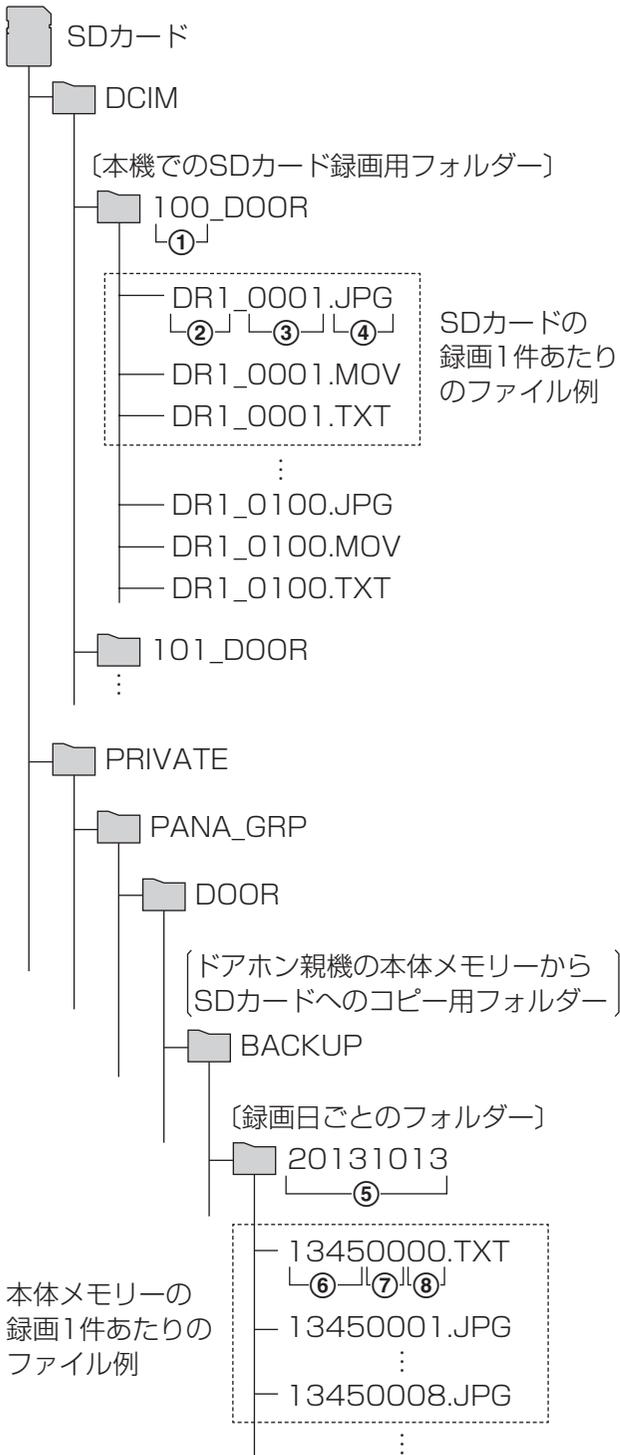
- Microsoft® Windows® XP operating system をWindows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows Vista® operating system をWindows Vista と表記しています。
- Microsoft® Windows® 7 operating system をWindows 7 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 operating system をWindows 8 と表記しています。

SDカードを操作する(つづき)

SDカードのフォルダー構造とファイル形式について

本機にSDカードを入れるとSDカードに以下のフォルダーが作成され、SDカードに直接録画するデータと、本体メモリーからコピーしたデータを、それぞれ別のフォルダーに保存・管理できます。

● **パソコンでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更しないでください。**(本機で再生できなくなります)

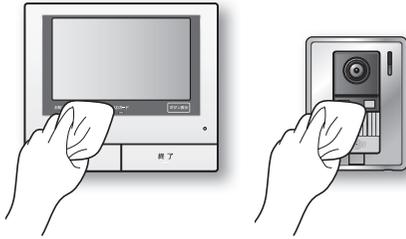


- ① **フォルダー番号**(100~129)
 - 他の機器で記録済みのSDカードをご使用の場合、フォルダー番号は100~999まで
- ② **撮影機器名**
 - DR1~DR3 : ドアホン1~3
 - CM1~CM4 : カメラ1~4
- ③ **ファイル番号**
 - 同一番号で録画1件
 - 同一フォルダー内に作成される
 - ファイル番号は0001~0100まで
- ④ **ファイルの種類**
 - JPG : 静止画(JPEG形式)
 - MOV : 動画(Motion JPEG形式)
 - TXT : 録画情報(TEXT形式)
- ⑤ **録画した日付**
(例: 2013年10月13日)
- ⑥ **録画した時刻**
(例: 13時45分)
- ⑦ **カウンタ番号**(00~49)
- ⑧ **録画1件あたりの画像番号**
 - 00 : 録画情報ファイルを表す
 - 01~08 : 8枚中の画像番号を表す

お手入れ

お手入れするときは

柔らかい布で、からぶきする



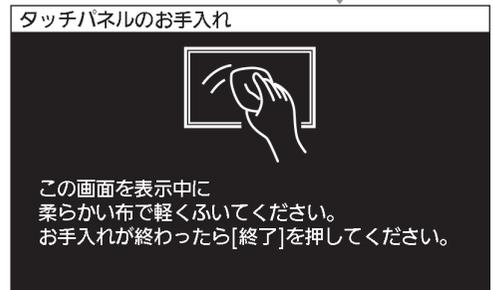
- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

■ ドアホン親機のタッチパネルをふくとき

- トップメニューの【お手入れ】をタッチすると電源プラグをコンセントから抜かずに画面のお手入れができます。
(終わったら、**終了** を押す)
- タッチパネルの表面の汚れなどをふき取る場合は、乾いた柔らかい布を使い、爪を立てずに指の腹で押さえ軽くふいてください。

■ ドアホン親機の電源プラグをふくとき

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。



上記画面を表示中(約90秒間)、画面のお手入れができます。

お手入れ
SDカードを
操作する

🔔 お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。
(変色、変質の原因になります)



ドアホン親機(カラーカメラドアホンモニターP5)

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約 1.9 W 動作時：約 10 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 183 × 210 × 29 (突起部除く)
質量	約 865 g
使用環境条件	周囲温度：0 °C ~ +40 °C 湿度：90 % 以下
画面表示	7.0型ワイドTFT カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
A接点出力※1	定格負荷： AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷： DC 5 V / 1 mA
外部入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1 秒以上 接点抵抗値： ・メイク時：500 Ω 以下 ・ブレイク時：15 kΩ 以上 端子間短絡電流：5 mA 以下 端子間開放電圧：DC 7 V 以下

LANインターフェース	100BASE-TX 対応 (ケーブル：カテゴリ-5)	
SDカードについて	対応カードの種類	SDメモリーカード※2： 2 GB SDHCメモリーカード※3： 4 GB ~ 32 GB SDXCメモリーカード： 48 GB、64 GB
	画像ファイルの記録方式	静止画：JPEG 形式 動画：QuickTime Motion JPEG 形式
	フォーマット	SDメモリーカード： FAT16 SDHCメモリーカード： FAT32 SDXCメモリーカード： exFAT

● SDカードの容量と録画件数の目安については
(☞ 31ページ)

※1 次の場合に出力されます。

- ・ドアホンやカメラから呼び出しがあったとき(☞ 24、52ページ)
- ・火災警報器の反応やコール機器からの呼び出しがあったとき(☞ 70ページ)
- ・窓センサー(報知レベル「高い」)が反応したとき(☞ 66ページ)

※2 miniSDメモリーカード/microSDメモリーカードも使えます。
(専用アダプターの装着が必要)

※3 miniSDHCメモリーカード/microSDHCメモリーカードも使えます。
(専用アダプターの装着が必要)



ドアホン(カラーカメラドアホン-P5)

電 源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約131 × 99 × 25 (突起部除く)
質 量	約170 g
使用環境条件	周囲温度：-10℃～+50℃ 湿度：90%以下
画 角	ワイド 左右約170°、上下約95°
	ズーム 左右約85°、上下約45°
	全 体 左右約170°、上下約115°
取付方法	露出型： JIS1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質	難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)
防水性	IPX3※4 (旧JIS C 0920 保護等級3) 〔防雨構造〕

※4 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

別売品

より便利にお使いになるための別売品が用意されています。別売品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

■子機

6台まで増設できます。

1.9Gワイヤレスモニター P5
(1.9GワイヤレスモニターP5)



■ドアホン

カラーカメラドアホン P5
(カラーカメラドアホンP5)
基本セットと合わせて3台まで接続できます。



■子機用充電器

1.9Gワイヤレスモニター P5 充電器

(1.9GワイヤレスモニターP5ジュゲデン)
1.9Gワイヤレスモニター P5 に付属の充電器と同じものです。



■中継アンテナ

中継アンテナ 2
(フェイクアンテナ2)

子機や窓センサーがドアホン親機と離れていて電波が届きにくいときに設置します。中継アンテナは2台まで設置でき、中継アンテナ1台で複数の子機や窓センサーを中継できます。



■ドアホンボックス

U-ドアホンボックス
(U-ドアホンボックス)

ドアホンに電話機/ファクスを有線接続するときに設置します。



消耗品

NTT東日本エリア (北海道、東北、関東、甲信越地区) でご利用のお客様

電池パック <KX-FAN55> については、

NTT東日本 光セレクトショップ

(☎0120-631-818) またはお買い上げになった販売店にお申し付けください。下記のウェブサイトからもご注文いただけます。

<http://hikariselect.jp/>

NTT西日本エリア (東海、北陸、近畿、中国、九州地区) でご利用のお客様

消耗品については、**NTT西日本 サプライ商品受付センター**(☎0120-86-8289)

またはお買い上げになった販売店にお申し付けください。

下記のウェブサイトからもご注文いただけます。

<http://fleets-w.com/solution/support/>

■子機用電池パック

電池パック-108

(デンパック-108)

1.9GワイヤレスモニターP5に付属の電池パックと同じものです。



パナソニック製の電池パックもご使用になれます。

品番：KX-FAN55

商標などについて

- SDXC ロゴはSD-3C, LLC の商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
- その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

本製品には tthttpd-2.25b、NetBSD、OpenSSL Project、Arcfour、MD5 message-digest algorithm で第三者よりライセンスされたソフトウェアが含まれており、下記の条件のもとに使用が許諾されています。

LICENSE ISSUES

This product uses some parts of tthttpd-2.25b, NetBSD, OpenSSL Project, Arcfour, MD5 message-digest algorithm.

The use of parts described above are licensed under the conditions below.

<<tthttpd-2.25b>>

Copyright 1995,1998,1999,2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<<NetBSD>>

This product uses a part of NetBSD kernel.

The use of a part of NetBSD kernel is based on the typical BSD style license below.

Copyright (c)

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.



ライセンスについて (つづき)

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

However, parts of the NetBSD Kernel are provided with the following copyright notices.

<isys_fcctl.h> Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

<isys_pl_stdio.c> Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California. All rights reserved.

<isys_getopt.c> Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.

<isys_pl_crypt.c> Copyright (c) 1987, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

<isys_vsscanf.c> Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

<nce_util_strtol.c> Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Parts of the NetBSD Kernel are provided with the licenses that are slightly different from the above Berkeley-formed license. Please refer the source code of the NetBSD Kernel about the details.

The source code of the NetBSD Kernel is provided by the NetBSD CVS Repositories

(<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/>), and this product includes parts of the source code in the following directories.

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/>

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/>

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/>

<<OpenSSL Project>>

<md32_common.h>

Copyright (c) 1999-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.OpenSSL.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact licensing@OpenSSL.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.OpenSSL.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

<md5_dgst.c>

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com). Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
- 4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

<md5_local.h>

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.



ライセンスについて (つづき)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

<<Arcfour>>

Copyright (c) April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

<<MD5 message-digest algorithm>>

MD5C.C - RSA Data Security, Inc., MD5 message-digest algorithm

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose.

It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
映像がゆがんで見える	● カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見ることがありますが、故障ではありません。	—
背景が緑っぽく映る	● 夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがありますが、故障ではありません。	—
夜間の映像が暗く顔が識別できない	● 「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか？ → 設定を「する」にしてください。 ● ドアホンの照明(LEDライト)点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。 → 補助灯などの設置をお勧めします。	85 —
人の顔が暗く映る	● ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 → 映像表示中に、逆光補正をしてください。	26
映像がはっきりしない ・焦点が合わない	● ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか？ → 柔らかい乾いた布でふいてください。 ● ドアホンのレンズカバーが結露していませんか？ → 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	101 —
映像全体が白っぽい、または黒っぽい	● 明るさの設定は適切ですか？ → 映像表示中に、明るさを調節してください。	26
映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される	● ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) → 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	—
画面全体がちらつく	● ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？ → 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	—

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">画面表示(ドアホン映像/その他)</p> <p>夜間に録画された ドアホン画像が暗い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 → ドアホン親機で、「ドアホン録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。 	83
<p>青画面(画像なし)が 録画されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声専用のドアホンを接続していませんか？ → 自動録画機能により、呼び出し時に表示される青画面が録画されます。 「ドアホン着信自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「しない」にすることを勧めます。 	83
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ドアホン通話/室内通話</p> <p>通話が途切れる または、 ほとんど聞こえない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ → 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレトーク通話に切り替えると、話しやすくなります。 ● 子機との通話の場合 <ul style="list-style-type: none"> • 子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ → アンテナ部から手を離してください。 • 子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありますか？ → ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。 	<p>25</p> <p>—</p> <p>8 9 92</p>
<p>雑音(ハウリング)が 聞こえて通話できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 → 少し離れた場所で通話してください。 	—



こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
ドアホン通話／室内通話 相手に、こちらの声がまったく聞こえない(こちらには相手の音声がかえる) 音声応答がうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> ● プレトーク通話になっていませんか？ (📞 を表示) → プレトーク通話では、通話 を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。 ● 応答の音が小さかったり、「はい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 → 「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。 	25 24
カメラモニター カメラモニターで映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ(市販品)がかくれんズ設定中または登録モード中になっていませんか？ → カメラの機種によっては、上記の場合に映像が表示されません。(詳細は📖 カメラの説明書) カメラ側でかくれんズ設定を解除、または通常モードに戻ったことを確認してから、モニター操作(📖 51ページ)をやり直してください。 	—
呼出音 ドアホンやカメラからの呼出音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 呼出音量が「切」になっていませんか？ → 呼出音量「切」を解除してください。 ● 暮らしモードが「夜間」になっていませんか？ → 夜間モードの詳細設定の「消音」設定を確認してください。 ● ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ → ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。 ● カメラの場合、ドアホン親機の「カメラ呼出一斉消音」設定をしていませんか？ → ドアホン親機で、「カメラ呼出一斉消音」設定を確認してください。 	78 42 80 82
電話／ファクスとの連携 ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで ・ドアホンの呼出音が鳴らない ・ドアホン通話が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスアダプターの設定(増設)は完了していますか？ → 設定を完了してください。 ● ドアホン親機と電話／ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物があるいませんか？ → ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話／ファクス親機を設置し直してください。 別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。 ● 上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ(📖 15ページ)を先端の細いもので押してください。(ドアホン親機に録画した画像、登録した設定内容などは消えません) 	46 77

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">火災警報器やコール機器との連携</p> <p>警報器の反応やコール機器の呼び出しがドアホン親機や子機に通知されない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通知音が鳴らない ・ 通知画面が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機の「外部入力」の設定が「なし」になっていませんか？ → ドアホン親機で、「外部入力」の設定を確認してください。 ● 配線に異常がある可能性があります。 → 当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。 	<p>86</p> <p>—</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">カメラ(市販品)との接続(通信)について</p> <p>カメラと通信できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機に、カメラが登録されていますか？ → 登録しないと通信できません。カメラを登録してください。 ● ドアホン親機とカメラ間のLANケーブルが、正しく接続されていますか？ → カメラの説明書も参照のうえ、正しく接続されているか確認してください。 ● ハブをご使用の場合、ハブのLinkランプが消灯していませんか？ → 電源や接続を確認してください。 ● ルーターをご使用の場合は次のことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ルーターの電源が入っていますか？ → ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、カメラのIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホン親機と通信ができるようになります(IPアドレスの取得には、3分程度かかる場合があります)。 ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。 ・ ルーターを再起動したり電源を入れ直すと、カメラとの通信ができなくなることがあります。 → ルーターの電源が入っていることを確認し、ドアホン親機のリセットスイッチ(15ページ)を先端の細いもので押して再起動してください。(ドアホン親機に録画した画像、登録した内容などは消えません) 次に、カメラの電源を入れ直してください。 <p>〈上記の確認後もカメラとの通信ができないとき〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラの設定画面やカメラ本体の初期化ボタンで、カメラをお買い上げ時の状態に戻していませんか？ → ドアホン親機で、カメラを登録し直してください。 	<p>49</p> <p>47</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>49</p>

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラモニターはできるが、センサー反応時の通知がこない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ(センサー検知)を「休止」にしていますか？ → くらしモードで、カメラの状態を確認してください。 ● カメラの「センサー選択」設定が、「OFF」(センサー反応しない)になっていませんか？ → 「OFF」以外に変えてください。 ● ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、カメラからの着信を「鳴らない」に設定していませんか？ → 「鳴り分け」設定を確認してください。 	53 57 80
車が通るたびにセンサーが反応する	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮影範囲に車や車のヘッドライトが映ると、動作を検知して反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても、人感(熱)センサーが温度変化を検知すると反応します。 → できるだけ、カメラを車道に向けないように設置するか、角度を調節してください。 → 動作検知の場合、カメラによってはドアホン親機で「動作検知範囲」設定ができる機種もあります。その場合は、車や車のヘッドライトが映る範囲を検知しないよう設定を変更してください。 → 人感(熱)センサーの場合、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、検知範囲の調整ができます。(詳細は  カメラの説明書) 	— 58 —
正面方向から近づいてくる人を検知できない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのセンサーは、横からの動きは検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなっています。 → できるだけ、カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。 → 正面方向から近づいてくる人を検知して映したいときは市販の外部人感センサーをご使用ください。(詳細は  カメラの説明書) 	— —
人が通っていないのに人感(熱)センサーが反応する	<ul style="list-style-type: none"> ● 換気扇やエアコンの室外機、給湯器などから吹き出る風や、風で動くような植木や洗濯物などがあると、人が通っていても反応することがあります。 → カメラの設置場所を変えるか、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、人感(熱)センサーの検知範囲を調整してください。(詳細は  カメラの説明書) 	—

カメラ(市販品)のセンサー反応について

困ったとき

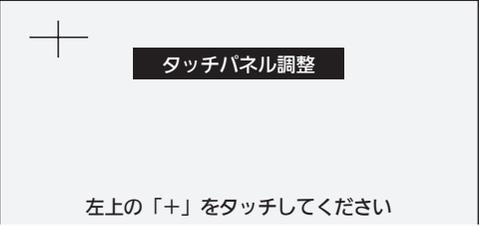
こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラ(市販品)のセンサー反応について 人感(熱)センサーが反応しにくくなった	<ul style="list-style-type: none"> ● 人感(熱)センサーの表面が汚れていませんか? → 表面を柔らかい乾いた布でふいてください。 	-
動作検知が反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 被写体の動きが小さい場合には、検知しないことがあります。 → ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を、より高い感度に変更してください。 <p>〈ライト付きのカメラの場合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カメラのLEDライトが点灯したときは、誤検知防止のため、最大2秒間は動作検知しません。 	57 -
動作検知が誤動作する	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作検知範囲に洗濯物、カーテン、植木など、風で動くものや、車などの交通量の多い道路があると、誤動作することがあります。また、犬や猫などの小動物にも反応することがあります。 → ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を変更してください。カメラによっては「動作検知範囲」設定で検知範囲を調整できる機種もあります。その場合は設定を変更してください。 ● 雪や雨が降っていると、反応することがあります。 	57 58 -

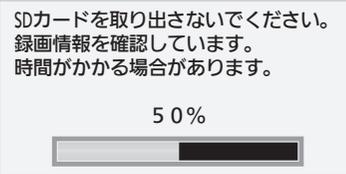
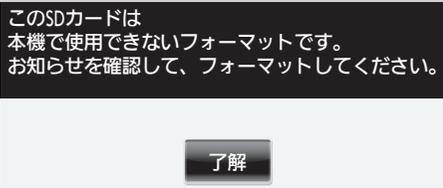
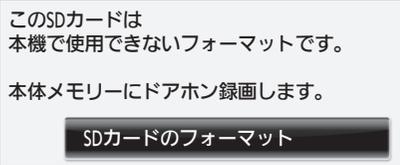
こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
映像が適切な明るさに ならない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 → 約1秒ほどお待ちください。自動で補正されます。 	-
カメラ(市販品)の映像表示について/録画について 被写体がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きのある被写体を映すとぶれることがあります。 (故障ではありません) ● カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、シャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 → 補助灯などの設置をお勧めします。 〔ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません〕 	-
映像に白点または 色のついた光の点が 表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が表示されることがあります。(故障ではありません) → 補助灯などの設置をお勧めします。 〔ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません〕 	-
映像表示や録画が中断 された	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの機種によっては、撮影中に登録モードやかくれレンズ設定になると、画像送信を終了します。 このため、映像表示や録画が中断することがあります。 (詳細は📖 カメラの説明書) 	-
映像の更新速度が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数のカメラをご利用の場合、カメラの着信が重なると、映像の更新速度が遅くなります。(故障ではありません) 	-

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● 画面に「展示モード」と表示されている ● 呼出音が定期的に鳴る ● 通話ができない 	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機の機能設定で「展示モード(販売店専用)」が設定されています。 → 機能設定の「その他の設定」の中にある「展示モード(販売店専用)」の設定を「しない」にしてください。 	89
<p>停電のとき使えますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 使えません。ドアホン親機は、日時が初期値に戻ることがあります。 → 戻ったときは、日時を設定し直してください。 	21
<p>正しく操作しても動かない 動作がおかしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 直らないときは、ドアホン親機のリセットスイッチ (15ページ) を先端の細いもので押してください。(録画した画像、登録した設定内容などは消えません) 	—
<p>ドアホン親機が動作しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 映像が映らない ● 呼出音が鳴らない ● 音声が出ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ → 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。 それでも直らないときは、当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。 ● 電源直結工事をして、ご使用のとき → 当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。 	—
<p>CS デジタル放送(特定チャンネル)の画像が乱れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機*の電波がCSデジタル放送のアンテナ伝送路へ混入すると、画像が乱れることがあります。 〔※無線通信に1.9 GHz帯を使用している中継アンテナなどの別売品を含みます〕 → 下記のように、CS・BS対応の受信設備をお使いください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 混合器、分配器、分波器などの機器は、CS・BS対応のものを使う ● 接続ケーブルは、「S-4C-FB」などの「S」で始まるCS・BS対応のものを使う ● 接続ケーブルのコネクターは、F型接栓タイプ(CS・BS専用ケーブルに対応)を使う 	—

その他

困ったとき

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p> <p>ドアホン親機で タッチパネル上の ボタンにタッチしても</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反応しない ・別のボタンが反応する 	<ul style="list-style-type: none"> ●反応しない場合 <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルが汚れていませんか? →タッチパネルのお手入れを行ってください。 ・お手入れをしても改善しない場合は、タッチパネルの調整が必要です。(調整のしかた  下記) ●別のボタンが反応する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネルの調整が必要です。 (調整のしかた  下記) <p>〈タッチパネルの調整のしかた〉</p> <p>→ ① ドアホン親機の 終了 を押しながら</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">通話 を3回押す</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0; text-align: center;">  <p>タッチパネル調整</p> <p>左上の「+」をタッチしてください</p> </div> <p>② 画面の指示に従って+マークを指でタッチする (5か所)</p> <p>③ [決定] をタッチする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>調整結果を保存しますか?</p> <p>決定 中止</p> </div>	<p>101 — —</p>

	表示	原因と対応	ページ
使い始めや機器登録のとき		<ul style="list-style-type: none"> ● 日時が設定されていません。または、停電などにより、設定した日時が消えています。 → 設定してください。 	21
		<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスアダプター機能で電話/ファクスを登録時、またはカメラ/窓センサー/子機/中継アンテナを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 → 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。 → カメラ登録の場合、ドアホン親機の操作途中でカメラを登録モードにします。登録モード(カメラの機器インジケータなどがオレンジ点滅)になったことを確認してから、約5分以内にドアホン親機の残りの操作をしてください。 	46 49 63 90 94
SDカード関連	<p>■ SDカード挿入時</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● SDカード内の情報を確認中です。パソコンなどでフォルダーやファイルを消去したり、名前を変更したときは、不要になったデータの消去と管理情報の更新を行うため、確認に時間がかかることがあります。 → パソコンなどで、SDカードのフォルダーやファイルの消去、名前の変更はしないでください。 	-
	<p>■ SDカード挿入時</p>  <p>■ お知らせ画面</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーマットされていないSDカード、またはパソコンなどの他の機器でフォーマットされたSDカードのため、本機でフォーマットしないと使えません。 → 本機で使用できるフォーマットのSDカードを入れてください。 → このSDカードを使用するには、本機でのフォーマットが必要です。左のお知らせ画面からフォーマットするか、機能設定の「フォーマット」でフォーマットしてください。 	- 97

こんな表示が出たら困ったとき

	表示	原因と対応	ページ
SDカード関連	<p>■ SDカード挿入時</p> <p>このカードには録画できません。 容量 2GB以上のSDカードを挿入してください。 「本体からSDカードへのコピー」はできます。</p> <p style="text-align: center;">了解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2 GB未満のSDカードのため、録画用には使用できません。 → 録画する場合は、本機で使用可能な 2 GB以上のSDカードを入れ直してください。 ● 本体メモリーの録画データをコピーする場合はこのSDカードが使用できます。 	18 98
	<p>■ お知らせ画面</p> <p>このSDカードは2GB未満です。 動画録画には使用できません。 本体メモリーにドアホン録画します。</p>		
SDカード関連	<p>■ SDカード挿入時</p> <p>このSDカードは空き容量が不足しています。 「本体からSDカードへのコピー」はできません。 不要なデータを削除してから再度挿入するか本機でフォーマットしてください。</p> <p style="text-align: center;">了解</p> <p>空き容量によって、出ない場合もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 挿入されたSDカードは、パソコンなど、本機以外で保存されたデータがいっぱいのため、本機で使用するための容量が不足しています。 → パソコンなど、データを保存した機器で不要なデータを削除してから再度入れ直してください。 → または、本機でフォーマットしてください。 	— 97
	<p>■ お知らせ画面</p> <p>SDカードの空き容量が不足しています。 本体メモリーにドアホン録画します。</p>		
カメラ関連	<p>■ センサー休止/解除の設定時</p> <p>設定できないカメラがありました。 カメラ情報画面で確認してください。</p> <p style="text-align: center;">了解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● LANケーブルが接続されていない、または接続したカメラの電源が入っていないため、センサーの休止または休止解除の設定ができていないカメラがあります。 → 画面表示に従って操作し、[カメラ情報]画面を表示すると、詳細を確認できます。 ● カメラにかくれんズ機能があり、かくれんズ設定中になっています。 → カメラ側で設定を解除してください。(詳細は  カメラの説明書) 	53 —
	<p>■ お知らせ画面</p> <p>カメラのセンサー検知を休止できないカメラがありました。 カメラ情報画面を確認してください。</p> <p style="text-align: center;">カメラ情報</p> <p>「開始できない」と表示される場合もあります。</p>		

	表示	原因と対応	ページ
カメラ関連	<p>カメラ番号(1~4)</p> <p>カメラ①に接続できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 112ページの「カメラと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください。 	-
	<p>通信できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラとの通信で、次のことが考えられます。カメラ側の状態を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・カメラの電源が切れている <ul style="list-style-type: none"> ➔ カメラの電源を入れてください。 ・カメラ側にはない機能を設定しようとした (☞ 57~61ページ) ・カメラにかくれレンズ機能があり、かくれレンズ設定中になっている <ul style="list-style-type: none"> ➔ カメラ側で設定を解除してください。(詳細は☞ カメラの説明書) ・テレビでカメラ映像を動画表示中に、ドアホン親機でカメラの機能設定をしようとした <ul style="list-style-type: none"> ➔ テレビ側で動画表示中は、機能設定ができません。 	-
ネットワーク接続	<p>■ ネットワーク接続時</p> <p>IPアドレスが重複しています。 IPアドレス設定を変更してください。</p> <p>了解</p> <p>■ お知らせ画面</p> <p>IP重複 ドアホン親機のIPアドレスを確認し ほかのネットワーク機器と重複しないように 再設定してください。</p> <p>ネットワーク情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアホン親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 <ul style="list-style-type: none"> ➔ 88ページの「ネットワーク情報」でドアホン親機のIPアドレスを確認し、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。 ➔ 左のお知らせ画面の場合は、画面に表示された[ネットワーク情報]をタッチしてドアホン親機のIPアドレスを確認し、ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。 	-

	表示	原因と対応	ページ
窓センサー関連	<p>■ くらしモード切り替え時</p> <p>閉じていないセンサーがありました。 センサー情報画面で確認してください。</p>  <p>■ お知らせ画面</p> <p>報知レベル「高い」または「低い」に設定時 閉じていないセンサーがありました。 センサー情報画面を確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● くらしモードの切り替え (☎ 40ページ)で窓センサーの報知レベルが「OFF」以外になったとき、 <ul style="list-style-type: none"> • 開いている窓がある • 電池切れ • 圏外 <p>のいずれかの理由で報知できない窓センサーがあると、表示されます。</p> <p>→ 画面表示に従って[センサー情報]画面を表示し、詳細を確認してください。</p>	65
	<p>■ お知らせ画面</p> <p>警報器の反応が継続しています。 確認してください。</p> <p>コール機器の入力が継続しています。 確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した火災警報器やコール機器側で反応や呼び出しが続いていませんか？ <ul style="list-style-type: none"> → 警報器やコール機器を確認してください。 ● 火災警報器やコール機器側で反応や呼び出しが続いていない場合は、配線に異常がある可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 当社のサービス取扱所またはお買い上げの販売店にご相談ください。 	—
その他	<p> 鳴らない</p> <p> 鳴らない</p> <p>着信中の機器があります。 親機では「鳴らない」設定です。</p> <p>他の子機あてにお客様です。 親機では「鳴らない」設定です。</p> <p>カメラセンサーが反応しました。 親機では「鳴らない」設定です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「鳴り分け」の設定 (☎ 80ページ)で、ドアホン親機では「鳴らない」ように設定したドアホンやカメラから着信中です。 <ul style="list-style-type: none"> → ドアホン親機で、この着信に応答することはできません。 	—

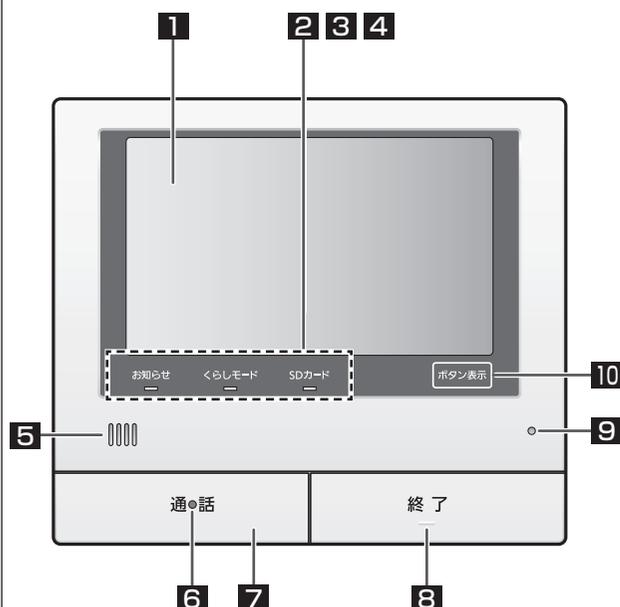
表示	原因と対応	ページ
<p data-bbox="207 459 504 523">番号は、「1」「2」「1, 2」のいずれかを表示</p> <div data-bbox="197 552 602 722"> <p data-bbox="207 562 504 610">中継アンテナ①の登録が電話とドアホンで重複しています。</p> <p data-bbox="282 678 495 703">中継アンテナを減設する</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 中継アンテナの登録で次のことが考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> • ドアホン親機と電話/ファクス親機に別々に登録している2台の中継アンテナが、同じ番号になっている <ul style="list-style-type: none"> → 同じ番号では使えません。ドアホン親機からいったん中継アンテナを減設し(☞ 下記)、別の番号で登録し直してください。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機に、合計3台以上の中継アンテナが登録されている <ul style="list-style-type: none"> → 合計で2台までしか使えません。2台以下になるよう、ドアホン親機または電話/ファクス親機から減設してください。(ドアホン親機からの減設は☞ 下記) <p data-bbox="646 826 1050 852">〈ドアホン親機からの減設のしかた〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 左の画面で中継アンテナを減設するをタッチする ② 96ページの手順6～8の操作で減設する 	<p data-bbox="1208 407 1226 426">—</p> <p data-bbox="1208 645 1226 664">—</p>
<p data-bbox="179 1035 362 1060">■ お知らせ画面</p> <div data-bbox="197 1079 602 1250"> <p data-bbox="207 1093 518 1190">ワイヤレスアダプターが圏外です。電話/ファクスの電源を確認して【電話/ファクスを探す】ボタンを押してください。</p> <p data-bbox="282 1213 477 1238">電話/ファクスを探す</p> </div> <p data-bbox="179 1300 362 1325">■ 接続状態画面</p> <div data-bbox="179 1344 632 1392"> <p data-bbox="179 1363 632 1389">ワイヤレスアダプター 圏外 電話/ファクスを探す</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電話/ファクス親機から電波が届いていないため、電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。 <ul style="list-style-type: none"> → 電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、左の画面で電話/ファクスを探すをタッチしてください。(電話/ファクス親機の電波を探します) → 上記の操作を行っても「圏外」になるときは、電話/ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。45ページを参照のうえ、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。 	<p data-bbox="1208 1108 1226 1128">—</p> <p data-bbox="1208 1248 1226 1267">—</p>

その他

こんな表示が出たら

Parts Descriptions

Main Monitor Station

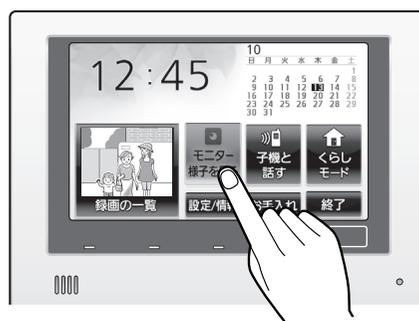


1 Display (Touch Screen)

To use the touch screen

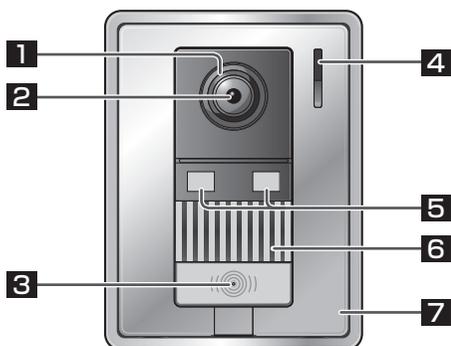
Touch the desired item as shown below.

- A confirmation tone is heard and the touched item is highlighted.



- 2** お知らせ Notification indicator
 - Flashes when there are unviewed images.
- 3** 暮らしモード Living mode (Home, Night, Out) indicator
- 4** SDカード SD card indicator
- 5** Speaker
- 6** Talk indicator
- 7** Talk button
- 8** OFF button
- 9** Microphone
- 10** Guidance off button
 - Hides the button guidance that overlaps the image.

Door Station



- 1** Lens cover
- 2** Camera lens
- 3** Call button & indicator
- 4** Microphone
- 5** LED lights
- 6** Speaker
- 7** Panel

- The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns on, press  (7).

■ To monitor outside images

Touch the display (touch screen) (1). → Touch [モニター 様子を見る].

(To talk to the visitor, press .)

● When an optional camera or more than one optional doorphone is connected

After touching [モニター 様子を見る], touch the desired doorphone ([ドアホン1], [ドアホン2] or [ドアホン3]), then touch the doorphone image.

■ To monitor camera images

Touch the display (touch screen). → Touch [モニター 様子を見る].

→ Touch the desired camera image.

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns on, touch [モニター].

■ To record a displayed image manually

Touch [録画] while monitoring an outside image.

■ To play back recorded images when the notification indicator flashes and is displayed

Touch the display (touch screen). → Touch [録画の一覧]. → Touch [再生].

→ The recorded images are automatically played back.

■ To call the sub monitor station

Touch the display (touch screen). → Touch [子機と話す], and speak to the other party.

→ After the other party answers, start talking.

● When more than one optional sub monitor station is registered

After touching [子機と話す], touch the image of where the desired sub monitor station is located, and speak to the other party.



困った
とき

さくいん

数字・アルファベット

IP アドレス	60, 88
LED ライト(照明用).....	13
Quick Reference Guide ...	124
SD カード	18
●書き込み禁止スイッチ... 19	
●入れる／取り出す	20
●録画件数.....	31
●録画状況.....	77
●フォーマット.....	97
●コピー (本体メモリー→SDカード)	98
●フォルダー構造.....	100

あ行

明るさ設定	
●画面の明るさ... 26, 36, 55	
●カメラ映像の明るさ	59
位置表示ランプ.....	13
液晶ディスプレイ.....	15, 16
お知らせ画面.....	21, 76
お知らせランプ.....	15
●ランプの点滅設定	88
お手入れ.....	101
音声応答.....	24, 82
音量を変える	
●受話音量.....	26
●送話音量.....	26
●呼出音量..... 26, 55, 78	
●録画再生中の音量	36

か行

外出モード	39
回転灯	71
火災警報器	70
画像(録画)	
●自動更新.....	32
●再生..... 34, 35	
●検索(探す).....	37
●保護／保護解除.....	38
●消去.....	38
画像全消去	83
カメラ情報	53
カメラとの連携..... 48～61	
●ドアホン親機との接続.... 47	
●減設するとき	96
カメラモニター.....	51
カメラレンズ.....	13
逆光補正(ドアホン)	26
逆光補正(カメラ).....	59

くらしモード.....	39
減設	
●電話／ファクス (ワイヤレスアダプター機能)	95
●子機／カメラ／中継アンテナ／ 窓センサー.....	96
子機増設	44, 90
子機の名前設定.....	85
コール機器	70

さ行

再起動	
●ドアホン親機 → リセット... 15	
●カメラ → カメラ再起動.... 61	
再生(画像).....	34
在宅モード	39
室内通話	30
自動録画	
●ドアホン着信自動録画	32, 83
●ドアホン通話自動記録	33, 83
●カメラ検知自動録画	56, 83
修理.....	128
手動録画.....	33, 56
受話音量.....	26
仕様	102
消去(画像).....	38
●1 件または 1 日分 まとめて消去	38
●全消去	83
情報表示画面.....	76
照明設定	
●ドアホン照明の手動 ON/OFF	26
●ドアホン照明の自動点灯設定	85
●カメラの照明設定	59
スピーカー.....	13, 14
ズーム位置設定.....	23
ズーム表示	22, 27, 36
設定の初期化	
●ドアホン親機.....	88
●カメラ(設定と登録の初期化)	61
センサー検知(センサー反応)	
●カメラのセンサー... 52, 56	
●窓センサー.....	66
センサー情報.....	65

全体表示	22, 27, 36, 54
増設(登録) → 「登録」を参照	
送話音量	26

た行

ただいまコール.....	13
タッチパネル.....	15, 16
着信画面設定.....	22
中継アンテナ.....	92, 104
通話転送(ドアホン通話)	28
通話ランプ	14
電気錠	68
電波状態表示.....	77
電話／ファクスとの連携	
.....	43～46
●減設するとき (ワイヤレスアダプター機能)	95
ドアホン	13, 104
ドアホンボックス.....	45, 104
ドアホン親機.....	14
ドアホンの名前設定.....	85
ドアホンモニター	29
登録(増設)	
●カメラ	49
●電話／ファクス (ワイヤレスアダプター機能)	46
●窓センサー.....	63
●子機	90
●中継アンテナ	94
時計	21
トップメニュー	16

な行

鳴り分け	80
日時設定	21

は行

パン・チルト.....	27, 54
光るチャイム.....	71
ファクスとの連携 → 「電話／ファクスとの連携」を参照	
プレストーク通話.....	25
別売品	104
ボイスチェンジ.....	26, 82
保護／保護解除.....	38
保守サービス.....	128

ま 行

マイク.....	13, 14
窓センサーとの連携....	62 ~ 67
● 減設するとき.....	96
水抜き穴.....	13
メロディサイン.....	71
戻って再生.....	25, 52
モニター(様子を見る)....	29, 51

や 行

夜間モード.....	39
● タイマー設定.....	41
呼出音(種類を変える).....	79
呼出音量.....	78

ら 行

リセットスイッチ.....	15
レンズカバー.....	13
録画・録音	
● 自動録画.....	32, 56
● 手動録画.....	33, 56
● 録音(通話自動記録).....	33
● 録画の自動更新.....	32

わ 行

ワイド表示....	22, 27, 36, 54
ワイヤレスアダプター機能	
.....	45, 46

機能設定の機能名から探す

機能設定の機能名をまとめて記載しています。



ドアホン親機の機能設定

【最初の設定】

日時設定.....	21, 81
ズーム位置設定.....	23, 81
着信画面設定.....	22, 81

【呼出音の設定】

呼出音量.....	78, 81
呼出音.....	79, 82
カメラ呼出一斉消音.....	82

【応答の設定】

音声応答.....	82
鳴り分け.....	80, 82
ボイスチェンジ.....	82

【録画再生の設定】

ドアホン録画開始時間.....	83
ドアホン着信自動録画.....	83
ドアホン通話自動記録.....	83
カメラ検知自動録画.....	83
録画状況確認.....	83
画像全消去.....	83

【SDカード】

フォーマット.....	84, 97
本体からSDカードへのコピー	
.....	84, 98

【接続機器の設定】

カメラ.....	下記
ドアホン接続.....	84
ドアホンの名前.....	85
子機の名前.....	85
ドアホン照明自動点灯.....	85
外部入力.....	86
A接点出力.....	71, 86
電気錠・機器ボタン... ..	68, 86
窓センサー	
● エリアの名前.....	87
● エリアの変更.....	64, 87

【登録/減設】

登録.....	87
減設.....	87

【その他の設定】

お知らせランプ点滅.....	88
タッチ確認音.....	88
ネットワーク情報.....	88
設定の初期化.....	88
PCモード起動	
(固定IP設定用).....	89
展示モード(販売店専用)...	89



カメラの機能設定

【センサー設定】

センサー選択.....	57
人感(熱)センサー感度.....	57
動作検知感度.....	57
動作検知範囲.....	58
カメラ調整モード	
(設置確認画面).....	58
録画のテスト.....	50, 58

【画面設定】

明るさ.....	59
逆光補正.....	59
照明.....	59
カラーナイトビュー.....	59

【お知らせ音設定】

お知らせ音入切.....	59
お知らせ音音量.....	59
お知らせ音種類.....	59

【カメラ情報】

カメラ詳細情報.....	60
カメラアドレス.....	60
カメラ検知履歴.....	60

【その他の設定】

カメラ登録モード入.....	61
プライバシーボタン.....	61
カメラ再起動.....	61
設定と登録の初期化.....	61



困った
とき

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間(1年間)中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 修理に要した費用をいただきます。(修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。)(故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障に関するお問い合わせ

故障した場合のお問い合わせは局番なしの「113」(無料)へご連絡ください。(24時間)

- 携帯電話・PHSからは「0120 - 444 - 113」(無料)にてお受けしております。
- 17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次で対応いたします。
※ NTT西日本エリアにつきましては、平日の17:00～翌日9:00ならびに土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)の終日は録音受付による対応となります。
なお、土曜、日曜、祝日、年末年始の9:00～17:00についてはオペレーターが録音内容をご確認させていただいた後、順次呼び返しにて対応させていただきます。
- 故障修理等の対応時間は9:00～17:00となります。
- 修理時に、本商品に保存された録画・録音データが消失する場合がありますが、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
本体メモリー内の録画データなどの重要な情報は、修理を依頼する前にSDカードにコピーして保管してください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

MEMO

MEMO

- 本商品は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
NTT cannot provide service for this product if used outside Japan.

ドアホン親機(カラーカメラドアホンモニター P5)は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。
ドアホン親機(カラーカメラドアホンモニター P5)を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ: <http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使いかたなどでご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリア(北海道、東北、関東、甲信越地区)でご利用のお客様

● 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-970413

(03-5667-7100※)

※ 携帯電話・PHS・050IP電話用 通話料金がかかります

受付時間 9:00~17:00

※ 年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT西日本エリア(東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区)でご利用のお客様

● 本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

 0120-248995

(携帯電話・PHSからも利用可能です)

受付時間 9:00~17:00

※ 一部時間帯は録音受付による対応となります。

※ 年末年始12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2013 NTTEAST・NTTWEST



本3233-2 (2013.5)
カラーカメラドアホン-P5/カラーカメラドアホンモニター-P5トリセツ



PNQX6002YA